

令和4年度 千曲市人権に関する市民意識調査

報 告 書

令和5年3月

千曲市 人権・男女共同参画課

目次

1 調査実施概要	1
2 調査結果	2
■回答者について	3
■人権侵害の経験について	11
■人権への関心について	13
■同和問題について	21
■犯罪被害者やその家族の人権問題について	31
■性の多様性について	33
■さまざまな人権問題について	35
■人権問題の教育や啓発について	50
■自由記述	53
3 分析と考察のまとめ	64
[資料] 調査票様式	65

1 調査実施概要

(1) 調査の目的

千曲市では、平成29年に実施した「人権に係る市民意識調査」を踏まえて、「第3次人権とくらしに関する総合計画」（平成31年度から令和5年度）を策定し、“人権擁護”や“あらゆる差別をなくすため”の施策推進に努めてきました。

昨今の人権を取り巻く環境に目を向けると、人権を尊重するという理念を基にした社会の形成が成し遂げられつつある一方で、子どもの人権問題、インターネット上での人権侵害、性的マイノリティへの偏見や差別問題、犯罪被害者やその家族への無配慮、新型コロナウイルス感染症の流行に関連した人権侵害など、新たな課題への取組が急務となっています。

「第3次人権とくらしに関する総合計画」の計画期間が令和5年度末に終了することに伴い、次期計画策定に向け本市として今後の人権教育・啓発等、人権施策を進めていく上での基礎資料を得ることを目的として、市民を対象とした「人権に関する市民意識調査」を実施することとしました。

(2) 調査対象

調査対象は、18歳以上の市民とし、住民基本台帳から無作為に1,000人を抽出して調査対象としました。

(3) 調査方法及び調査期間

調査は、従来のアンケート調査票の郵便による送付・返送に加え、汎用アンケートシステムを用いたオンラインによる回答を新たに設定し、回答者の無記名方式で行いました。

調査票を令和4年9月28日（水）に発送し、令和4年10月31日（月）までの投函またはアンケートシステムへの入力を依頼しました。

(4) 回答状況

回収状況は別表1に示すとおりで、全体の回答数は445件、回答率は44.5%でした。

集計分析においては、回答数445件を集計対象としました。

別表 1 回収状況 (注)表中の回収率の比率は、対象全数=1,000に対する割合。

種別	回収状況	
	回答数	回収率
郵送	389	38.9%
オンライン	56	5.6%
合計	445	44.5%

2 調査結果

□調査結果の表示について

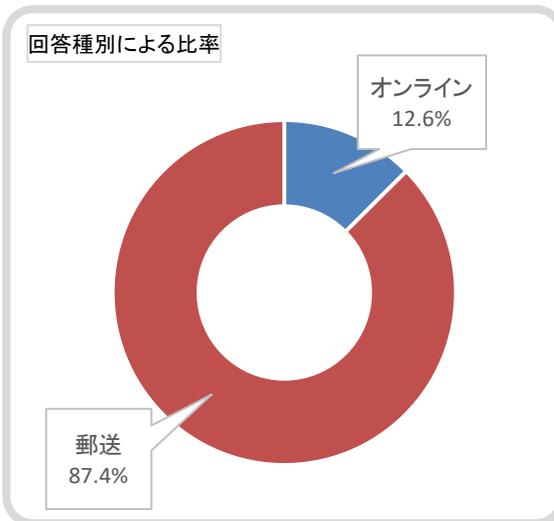
- ・過去の調査と同じ又は類似した調査項目については、過去の調査結果を参考として掲載しています。
- ・過去の調査にない調査項目および選択肢は、該当欄を黒塗りしています。
- ・平成25年度調査（以下「H25」）の調査結果と比較し、平成29年度調査（以下「H29」）および今回（以下「R4」）の調査結果の構成比が連続して増減している調査項目には、目安として集計表欄外右に矢印を付しています。

↑：連続して増加 ↓：連続して減少

- ・構成比率はすべて百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入して小数点第1位まで表示しています。そのため、構成比の合計が100%にならないことがあります。
- ・複数回答の設問の場合、選択項目の回答者数に対しての比率を示すため、構成比の合計が100%を超えることがあります。

□回答方法種別の構成比

種別	H25構成比	H29構成比	R4構成比	R4回答数
郵送	100.0%	100.0%	87.4%	389
オンライン			12.6%	56
全体	-	-	-	445



【考察】

今回調査より新たにオンラインによる回答を加えた結果、全体の回答のうち12.6%がオンラインによる回答を選択した。

H25・H29と比較した郵送による回答数の減少数を上回る回答数をオンラインによる回答で得られているため、オンラインによる回答の選択肢は回答率の向上に有効であると考えられる。

□調査票質問項目の集計にあたって

- ・単一回答の項目で複数の選択肢を選択しているものなど、無効な回答は「無回答」として集計しています。
- ・選択肢によって付問の回答が不要にもかかわらず、付問の回答をしているものは、集計から除外しています。
- ・自由記述の項目は、原則原文のまま掲載していますが、一部補正を加えています。

□質問項目

■ご自身のことについておたずねします

問1 あなたがお住いの地区は、次のどれですか。(1つに○)

選択肢(単一回答)	H25構成比	H29構成比	R4構成比	R4回答数	
1 屋代小学校区	更埴 地区 62.5%	更埴 地区 63.0%	14.2%	63	} 61.6%
2 東小学校区			11.9%	53	
3 埴生小学校区			15.1%	67	
4 治田小学校区			11.0%	49	
5 八幡小学校区			9.4%	42	
6 戸倉小学校区	戸倉 地区 26.0%	戸倉 地区 27.8%	9.9%	44	} 25.8%
7 更級小学校区			7.0%	31	
8 五加小学校区			9.0%	40	
9 上山田小学校区	9.3%	9.1%	10.1%	45	
0 無回答	2.1%	0.0%	2.5%	11	
全体	-	-	-	445	

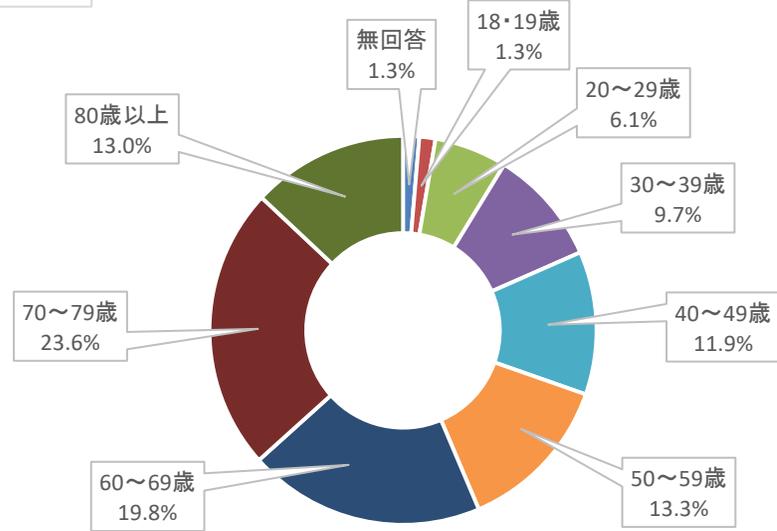
問2 あなたの性別をお答えください。(1つに○)

選択肢(単一回答)	H25構成比	H29構成比	R4構成比	R4回答数	
1 男性	47.7%	45.3%	42.2%	188	↓
2 女性	50.4%	54.7%	55.5%	247	↑
3 答えたくない・わからない			0.7%	3	
0 無回答	1.9%	0.0%	1.6%	7	
全体	-	-	-	445	

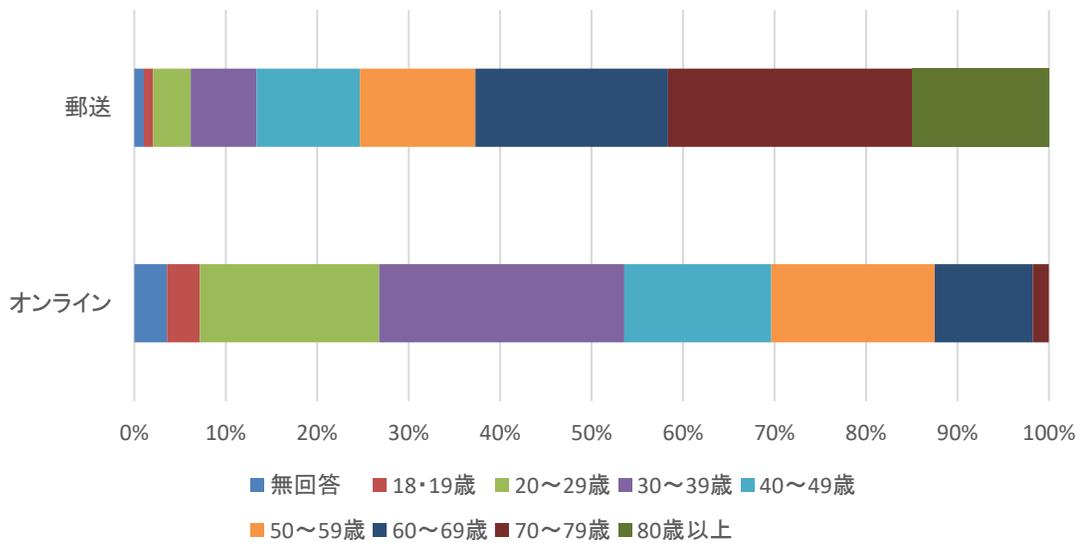
問3 あなたの年齢をお答えください。(1つに○)

選択肢(単一回答)	H25構成比	H29構成比	R4構成比	R4回答数	
1 18・19歳	1.4%	2.6%	1.3%	6	
2 20～29歳	5.3%	6.0%	6.1%	27	↑
3 30～39歳	12.4%	10.3%	9.7%	43	↓
4 40～49歳	10.7%	11.5%	11.9%	53	↑
5 50～59歳	13.6%	15.6%	13.3%	59	
6 60～69歳	24.8%	23.0%	19.8%	88	↓
7 70～79歳	17.2%	22.1%	23.6%	105	↑
8 80歳以上	12.6%	8.9%	13.0%	58	
0 無回答	1.9%	0.0%	1.3%	6	
全体	-	-	-	445	

問3の年齢階層別比率



回答種別毎の年齢階層別比率



【考察】

年齢階層別の回答者の割合は、「70～79歳」が最も高く23.6%、次いで「60～69歳」が19.8%、「50～59歳」および「80歳以上」が約13%を占めている。
 回答種別に対する年齢階層別の割合は、50歳以上の回答者では全体の約65%が郵送による回答を選択している一方、39歳以下の回答者は約50%がオンラインによる回答を選択している。

問4 現在、あなたはどのような仕事（主なもの）に就いておられますか。（1つに○）

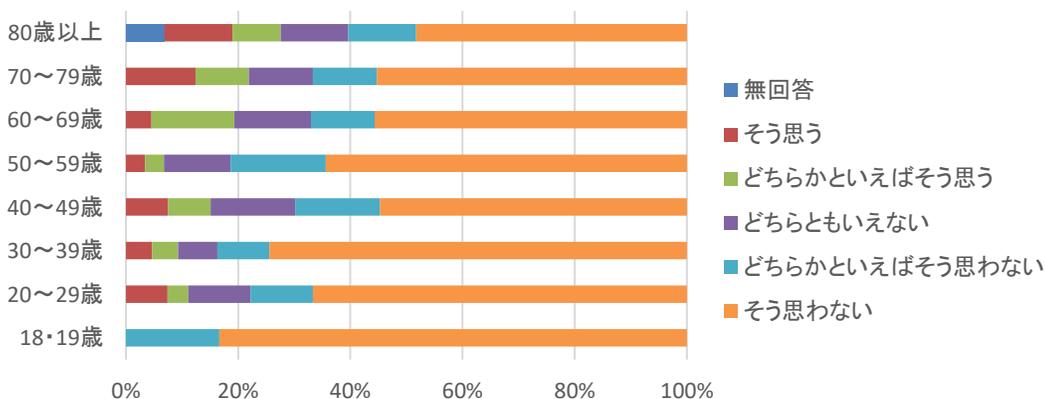
選択肢（単一回答）	H25構成比	H29構成比	R4構成比	R4回答数
1 農林業(家族従事者も含む)	10.0%	7.2%	8.5%	38
2 農林業以外の自営業(家族従事者も含む)	2.6%	3.4%	3.8%	17
3 専門職(開業医・弁護士など)	3.8%	2.9%	3.8%	17
4 商工サービス業(商店・飲食店の店員等)	4.3%	6.5%	6.3%	28
5 会社員(民間企業・各種団体など)	31.0%	30.7%	32.8%	146
6 公務員	3.8%	5.3%	4.3%	19
7 学生		3.6%	1.3%	6
8 無職・求職中	41.3%	40.3%	35.5%	158
0 無回答	2.6%	2.0%	3.6%	16
全体	-	-	-	445

問5 あなたは、次のような人権の考え方について、どのように思いますか。次にあげる①～⑧のすべてについてお答えください。（それぞれ1つに○）

①人権は自分の生活には関係ない

選択肢（単一回答）	H25構成比	H29構成比	R4構成比	R4回答数
1 そう思う	12.9%	7.9%	7.6%	34
2 どちらかといえばそう思う	10.5%	9.1%	8.3%	37
3 どちらともいえない	13.4%	17.5%	11.7%	52
4 どちらかといえばそう思わない	11.7%	13.7%	12.4%	55
5 そう思わない	47.5%	49.6%	57.8%	257
0 無回答	4.1%	2.2%	2.2%	10
全体	-	-	-	445

問5①の年齢階層別比率



[考察]

設問「問5①」において、「そう思わない」が増加傾向、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」が減少傾向であることに加え、年齢階層別でも「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」のいずれかを選択した回答は、全年齢階層で60%超を占めている。このことから、人権問題を他人事とせず、身近に感じている市民が増えていることが窺える。

②人権は職場の中では通用しない

選択肢（単一回答）	H25構成比	H29構成比	R4構成比	R4回答数	
1 そう思う	12.9%	9.1%	5.4%	24	↓
2 どちらかといえばそう思う	9.5%	7.4%	9.2%	41	
3 どちらともいえない	16.2%	17.3%	15.3%	68	
4 どちらかといえばそう思わない	10.5%	15.3%	11.2%	50	
5 そう思わない	43.4%	47.0%	55.3%	246	↑
0 無回答	7.4%	3.8%	3.6%	16	↓
全体	-	-	-	445	

③人権は夫婦の間では関係ない

選択肢（単一回答）	H25構成比	H29構成比	R4構成比	R4回答数	
1 そう思う	15.3%	11.3%	8.1%	36	↓
2 どちらかといえばそう思う	7.6%	6.7%	5.6%	25	↓
3 どちらともいえない	11.0%	11.3%	13.3%	59	↑
4 どちらかといえばそう思わない	10.7%	12.7%	9.7%	43	
5 そう思わない	48.7%	54.4%	61.3%	273	↑
0 無回答	6.7%	3.6%	2.0%	9	↓
全体	-	-	-	445	

④人権は子どもには関係ない

選択肢（単一回答）	H25構成比	H29構成比	R4構成比	R4回答数	
1 そう思う	14.3%	11.8%	7.0%	31	↓
2 どちらかといえばそう思う	4.5%	4.3%	4.7%	21	
3 どちらともいえない	11.2%	11.0%	6.5%	29	↓
4 どちらかといえばそう思わない	9.1%	11.0%	10.1%	45	
5 そう思わない	52.7%	58.3%	69.2%	308	↑
0 無回答	8.1%	3.6%	2.5%	11	↓
全体	-	-	-	445	

⑤人権は外国人には関係ない

選択肢（単一回答）	H25構成比	H29構成比	R4構成比	R4回答数	
1 そう思う	9.5%	7.4%	5.4%	24	↓
2 どちらかといえばそう思う	5.7%	5.3%	3.8%	17	↓
3 どちらともいえない	10.0%	9.8%	8.8%	39	↓
4 どちらかといえばそう思わない	12.2%	13.2%	9.4%	42	
5 そう思わない	54.7%	60.2%	69.9%	311	↑
0 無回答	7.9%	4.1%	2.7%	12	↓
全体	-	-	-	445	

⑥人権は結婚とは関係ない

選択肢（単一回答）	H25構成比	H29構成比	R4構成比	R4回答数
1 そう思う	18.1%	13.7%	11.0%	49
2 どちらかといえばそう思う	7.9%	7.0%	7.4%	33
3 どちらともいえない	14.8%	12.9%	9.2%	41
4 どちらかといえばそう思わない	11.0%	11.0%	10.8%	48
5 そう思わない	41.1%	50.8%	59.1%	263
0 無回答	7.2%	4.6%	2.5%	11
全体	-	-	-	445

⑦人権は職業の選択とは関係ない

選択肢（単一回答）	H25構成比	H29構成比	R4構成比	R4回答数
1 そう思う	23.6%	18.7%	17.8%	79
2 どちらかといえばそう思う	8.6%	8.9%	7.9%	35
3 どちらともいえない	14.8%	12.5%	10.1%	45
4 どちらかといえばそう思わない	10.0%	11.8%	11.9%	53
5 そう思わない	36.3%	44.4%	50.1%	223
0 無回答	6.7%	3.8%	2.2%	10
全体	-	-	-	445

⑧人権はインターネットでは通用しない

選択肢（単一回答）	H25構成比	H29構成比	R4構成比	R4回答数
1 そう思う			13.0%	58
2 どちらかといえばそう思う			9.7%	43
3 どちらともいえない			17.3%	77
4 どちらかといえばそう思わない			11.0%	49
5 そう思わない			44.0%	196
0 無回答			4.9%	22
全体			-	445

問6 「差別」について、あなたはどのようなお考えをお持ちですか。次にあげる①～⑪のすべてについて、あまり深く考えず、頭に浮かんだ気持ちを気軽にお答えください。（それぞれ1つに○）

①差別は人間として最も恥ずべき行為の一つである

選択肢（単一回答）	H25構成比	H29構成比	R4構成比	R4回答数
1 そう思う	62.5%	58.3%	63.4%	282
2 どちらかといえばそう思う	26.5%	28.3%	24.7%	110
3 どちらともいえない	5.0%	7.2%	5.6%	25
4 どちらかといえばそう思わない	1.2%	2.2%	1.6%	7
5 そう思わない	2.4%	2.4%	2.2%	10
0 無回答	2.4%	1.7%	2.5%	11
全体	-	-	-	445

②差別は世の中に必要なこともある

選択肢（単一回答）	H25構成比	H29構成比	R4構成比	R4回答数
1 そう思う	6.0%	4.6%	4.5%	20
2 どちらかといえばそう思う	6.9%	9.8%	6.1%	27
3 どちらともいえない	17.7%	16.8%	16.6%	74
4 どちらかといえばそう思わない	10.5%	16.8%	15.7%	70
5 そう思わない	55.1%	49.4%	56.0%	249
0 無回答	3.8%	2.6%	1.1%	5
全体	-	-	-	445

③あらゆる差別をなくすために、行政は努力する必要がある

選択肢（単一回答）	H25構成比	H29構成比	R4構成比	R4回答数
1 そう思う	53.9%	54.2%	60.0%	267
2 どちらかといえばそう思う	20.0%	25.2%	23.6%	105
3 どちらともいえない	14.6%	10.6%	9.9%	44
4 どちらかといえばそう思わない	2.6%	3.8%	2.0%	9
5 そう思わない	5.3%	2.9%	3.4%	15
0 無回答	3.6%	3.4%	1.1%	5
全体	-	-	-	445

④差別は法律で禁止する必要がある

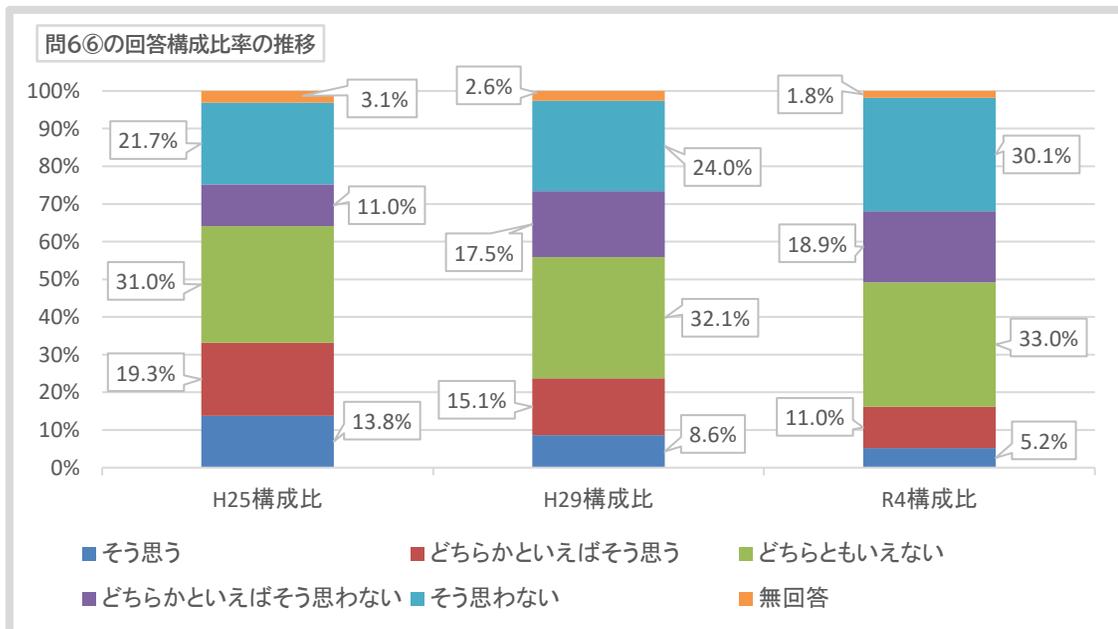
選択肢（単一回答）	H25構成比	H29構成比	R4構成比	R4回答数
1 そう思う	33.4%	25.4%	33.7%	150
2 どちらかといえばそう思う	19.6%	25.5%	27.4%	122
3 どちらともいえない	26.3%	35.3%	27.9%	124
4 どちらかといえばそう思わない	7.4%	3.6%	4.7%	21
5 そう思わない	9.8%	7.0%	4.9%	22
0 無回答	3.6%	3.1%	1.3%	6
全体	-	-	-	445

⑤差別の原因には、差別される人の側に問題があることも多い

選択肢（単一回答）	H25構成比	H29構成比	R4構成比	R4回答数
1 そう思う	10.5%	7.2%	3.4%	15
2 どちらかといえばそう思う	10.3%	13.2%	8.3%	37
3 どちらともいえない	34.4%	36.9%	35.3%	157
4 どちらかといえばそう思わない	14.6%	13.4%	18.0%	80
5 そう思わない	26.7%	26.6%	33.5%	149
0 無回答	3.6%	2.6%	1.6%	7
全体	-	-	-	445

⑥差別されている人は、まず、自分たちが世の中に受け入れられるよう努力することが必要だ

選択肢（単一回答）	H25構成比	H29構成比	R4構成比	R4回答数
1 そう思う	13.8%	8.6%	5.2%	23
2 どちらかといえばそう思う	19.3%	15.1%	11.0%	49
3 どちらともいえない	31.0%	32.1%	33.0%	147
4 どちらかといえばそう思わない	11.0%	17.5%	18.9%	84
5 そう思わない	21.7%	24.0%	30.1%	134
0 無回答	3.1%	2.6%	1.8%	8
全体	-	-	-	445



【考察】

設問「問6⑥」において、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」が減少傾向、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」が増加傾向を示している。割合でも「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計の全体に対する割合はH25は33.1%なのに対し今回調査では16.2%と半減し、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」の合計の全体に対する割合はH25は32.7%なのに対し今回調査では49.0%まで増加している。

⑦差別だという訴えを、いちいち取り上げていたら、きりが無い

選択肢（単一回答）	H25構成比	H29構成比	R4構成比	R4回答数
1 そう思う	15.8%	10.8%	5.8%	26
2 どちらかといえばそう思う	12.9%	17.7%	13.7%	61
3 どちらともいえない	25.8%	27.1%	25.6%	114
4 どちらかといえばそう思わない	13.4%	13.9%	20.4%	91
5 そう思わない	27.7%	27.3%	33.2%	148
0 無回答	4.5%	3.1%	1.1%	5
全体	-	-	-	445

⑧差別される人の言葉をきちんと聞く必要がある

選択肢（単一回答）	H25構成比	H29構成比	R4構成比	R4回答数
1 そう思う	56.8%	56.6%	59.3%	264
2 どちらかといえばそう思う	25.3%	29.0%	26.7%	119
3 どちらともいえない	9.1%	7.9%	7.4%	33
4 どちらかといえばそう思わない	1.2%	1.2%	2.0%	9
5 そう思わない	4.1%	2.6%	2.9%	13
0 無回答	3.6%	2.6%	1.6%	7
全体	-	-	-	445

⑨差別を問題にすることによって、より問題が解決しにくくなる

選択肢（単一回答）	H25構成比	H29構成比	R4構成比	R4回答数
1 そう思う	16.0%	12.7%	6.7%	30
2 どちらかといえばそう思う	12.9%	14.6%	11.5%	51
3 どちらともいえない	30.1%	28.5%	30.6%	136
4 どちらかといえばそう思わない	11.2%	15.6%	17.5%	78
5 そう思わない	27.0%	25.9%	31.7%	141
0 無回答	2.9%	2.6%	2.0%	9
全体	-	-	-	445

⑩差別問題に無関心な人も、差別問題についてきちんと理解してもらうことが必要である

選択肢（単一回答）	H25構成比	H29構成比	R4構成比	R4回答数
1 そう思う	49.4%	48.4%	47.0%	209
2 どちらかといえばそう思う	25.3%	26.4%	33.5%	149
3 どちらともいえない	12.9%	14.6%	11.5%	51
4 どちらかといえばそう思わない	3.8%	3.1%	2.7%	12
5 そう思わない	6.0%	4.8%	4.0%	18
0 無回答	2.6%	2.6%	1.3%	6
全体	-	-	-	445

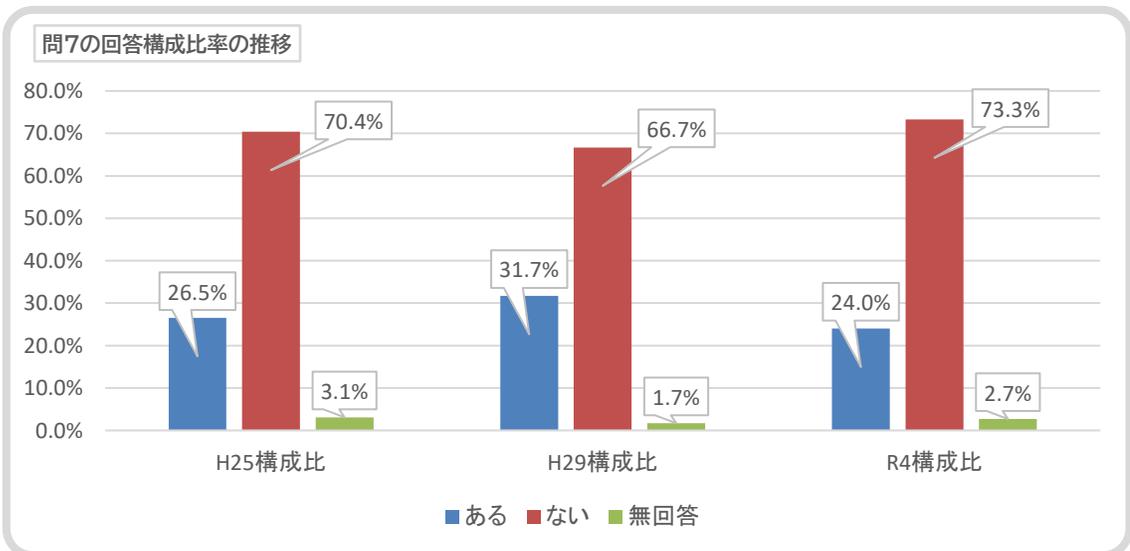
⑪差別は差別されている人の問題で、自分には関係ない

選択肢（単一回答）	H25構成比	H29構成比	R4構成比	R4回答数
1 そう思う	3.6%	1.9%	1.3%	6
2 どちらかといえばそう思う	2.6%	1.4%	2.2%	10
3 どちらともいえない	16.9%	14.6%	14.2%	63
4 どちらかといえばそう思わない	14.1%	16.8%	18.4%	82
5 そう思わない	59.9%	63.1%	62.7%	279
0 無回答	2.9%	2.2%	1.1%	5
全体	-	-	-	445

■人権侵害の経験についておたずねします

問7 あなたは、今までに自分や家族の人権が侵害されたと思ったことがありますか。（1つに○）

選択肢（単一回答）	H25構成比	H29構成比	R4構成比	R4回答数
1 ある	26.5%	31.7%	24.0%	107
2 ない	70.4%	66.7%	73.3%	326
0 無回答	3.1%	1.7%	2.7%	12
全体	-	-	-	445



【考察】

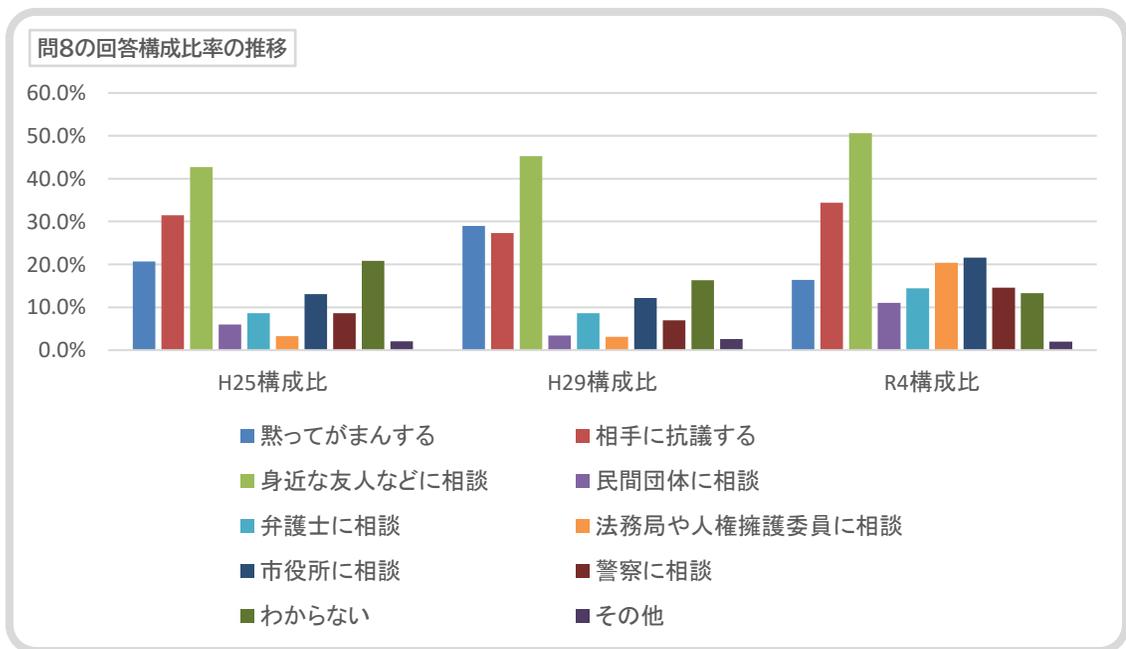
設問「問7」においては、「ある」「ない」ともに大きな変動はみられず、概ね横ばいとなっている。
 人権侵害の経験を減らすべく活動することが重要であると共に、新たな人権課題の発現には速やかに対応できる体制づくりが求められているといえる。

問8 あなたは、自分や家族の人権が侵害された場合、どのように対応しますか（しましたか）。（○はいくつでも）

選択肢（複数回答）	H25構成比	H29構成比	R4構成比	R4回答数
1 黙ってがまんする	20.7%	29.0%	16.4%	73
2 相手に抗議する	31.5%	27.3%	34.4%	153
3 身近な友人などに相談	42.7%	45.3%	50.6%	225
4 民間団体に相談	6.0%	3.4%	11.0%	49
5 弁護士に相談	8.6%	8.6%	14.4%	64
6 法務局や人権擁護委員に相談	3.3%	3.1%	20.4%	91
7 市役所に相談	13.1%	12.2%	21.6%	96
8 警察に相談	8.6%	7.0%	14.6%	65
9 わからない	20.8%	16.3%	13.3%	59
10 その他	2.1%	2.6%	2.0%	9

「10 その他」（9件）の自由記述

- ・親戚等に相談する。
- ・そういう人間は相手にしない。
- ・自分なら我慢するかもしれない。
- ・嫁(仏教)、姑の宗教(新教)、家計、婦人会館相談室。
- ・どこに相談していいかわからない。
- ・自力での解決策を探す。
- ・差別の程度にもよる。
- ・僕は体に障がいがあって人にしてもらわないといけないので、がまんしないといけないのかなと思う時もある。
- ・マジでっていつかおこる。ゆるせない。



【考察】

設問「問8」においては、「法務局や人権擁護委員に相談」がH25・H29と比較し大幅に増加しており、法務局および人権擁護委員の存在感が増していることを表していると思われる。

また「黙ってがまんする」が減少した一方で、各種団体等に相談する選択肢が総じて増加していることは、人権侵害への対処についての市民の理解が向上している結果と推測される。

■人権への関心についておたずねします

問9 あなたは、人権に関する法律や条例、宣言等があることを、どの程度ご存じですか。①～④のすべてについてお答えください。（それぞれ1つに○）

①長野県犯罪被害者等支援条例（2022年）

選択肢（単一回答）	H25構成比	H29構成比	R4構成比	R4回答数
1 どんな内容か知っている			5.8%	26
2 内容は知らないが名称は聞いたことがある			37.3%	166
3 知らなかった			50.3%	224
0 無回答			6.5%	29
全体			-	445

②アイヌの人々の誇りが尊重される社会を実現するための施策の推進に関する法律【アイヌ施策推進法】（2019年）

選択肢（単一回答）	H25構成比	H29構成比	R4構成比	R4回答数
1 どんな内容か知っている			5.4%	24
2 内容は知らないが名称は聞いたことがある			48.8%	217
3 知らなかった			42.2%	188
0 無回答			3.6%	16
全体			-	445

③部落差別の解消の推進に関する法律【部落差別解消推進法】（2016年）

選択肢（単一回答）	H25構成比	H29構成比	R4構成比	R4回答数
1 どんな内容か知っている		12.5%	13.9%	62
2 内容は知らないが名称は聞いたことがある		48.7%	56.4%	251
3 知らなかった		34.8%	26.7%	119
0 無回答		4.1%	2.9%	13
全体		-	-	445

④本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進に関する法律【ヘイトスピーチ解消法】（2016年）

選択肢（単一回答）	H25構成比	H29構成比	R4構成比	R4回答数
1 どんな内容か知っている		8.4%	7.0%	31
2 内容は知らないが名称は聞いたことがある		40.5%	40.4%	180
3 知らなかった		45.6%	49.9%	222
0 無回答		5.5%	2.7%	12
全体		-	-	445

⑤障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律【障害者差別解消法】（2016年）

選択肢（単一回答）	H25構成比	H29構成比	R4構成比	R4回答数
1 どんな内容か知っている		9.1%	8.8%	39
2 内容は知らないが名称は聞いたことがある		44.6%	49.0%	218
3 知らなかった		40.5%	39.3%	175
0 無回答		5.8%	2.9%	13
全体		-	-	445

⑥女性の職業生活における活躍の推進に関する法律【女性活躍推進法】（2015年）

選択肢（単一回答）	H25構成比	H29構成比	R4構成比	R4回答数
1 どんな内容か知っている			12.1%	54
2 内容は知らないが名称は聞いたことがある			56.9%	253
3 知らなかった			27.9%	124
0 無回答			3.1%	14
全体			-	445

⑦ハンセン病問題の解決の促進に関する法律【ハンセン病問題基本法】（2008年）

選択肢（単一回答）	H25構成比	H29構成比	R4構成比	R4回答数
1 どんな内容か知っている	15.8%	12.9%	10.1%	45
2 内容は知らないが名称は聞いたことがある	58.2%	61.6%	64.3%	286
3 知らなかった	22.4%	19.9%	22.9%	102
0 無回答	3.6%	5.5%	2.7%	12
全体	-	-	-	445



⑧犯罪被害者等基本法（2004年）

選択肢（単一回答）	H25構成比	H29構成比	R4構成比	R4回答数
1 どんな内容か知っている	8.1%	7.7%	6.7%	30
2 内容は知らないが名称は聞いたことがある	54.7%	52.5%	55.5%	247
3 知らなかった	32.5%	33.1%	33.9%	151
0 無回答	4.8%	6.7%	3.8%	17
全体	-	-	-	445



⑨千曲市差別撤廃人権擁護条例（2003年）

選択肢（単一回答）	H25構成比	H29構成比	R4構成比	R4回答数
1 どんな内容か知っている	5.3%	4.3%	3.8%	17
2 内容は知らないが名称は聞いたことがある	30.8%	27.6%	25.4%	113
3 知らなかった	58.0%	62.6%	65.8%	293
0 無回答	6.0%	5.5%	4.9%	22
全体	-	-	-	445



⑩個人情報保護法（2003年）

選択肢（単一回答）	H25構成比	H29構成比	R4構成比	R4回答数
1 どんな内容か知っている	49.9%	49.2%	41.3%	184
2 内容は知らないが名称は聞いたことがある	34.8%	40.0%	45.8%	204
3 知らなかった	9.5%	5.3%	9.2%	41
0 無回答	5.7%	5.5%	3.6%	16
全体	-	-	-	445

⑪配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律【DV防止法】（2001年）

選択肢（単一回答）	H25構成比	H29構成比	R4構成比	R4回答数
1 どんな内容か知っている			26.7%	119
2 内容は知らないが名称は聞いたことがある			57.5%	256
3 知らなかった			12.8%	57
0 無回答			2.9%	13
全体			-	445

⑫人権教育及び人権啓発の推進に関する法律（2000年）

選択肢（単一回答）	H25構成比	H29構成比	R4構成比	R4回答数
1 どんな内容か知っている	9.5%	8.2%	8.3%	37
2 内容は知らないが名称は聞いたことがある	40.8%	47.5%	54.4%	242
3 知らなかった	43.9%	38.6%	33.7%	150
0 無回答	5.7%	5.8%	3.6%	16
全体	-	-	-	445

⑬男女共同参画社会基本法（1999年）

選択肢（単一回答）	H25構成比	H29構成比	R4構成比	R4回答数
1 どんな内容か知っている	30.8%	28.3%	23.4%	104
2 内容は知らないが名称は聞いたことがある	43.7%	47.5%	58.0%	258
3 知らなかった	21.0%	18.9%	15.7%	70
0 無回答	4.5%	5.3%	2.9%	13
全体	-	-	-	445

⑭高齢社会対策基本法（1995年）

選択肢（単一回答）	H25構成比	H29構成比	R4構成比	R4回答数
1 どんな内容か知っている	11.0%	9.8%	8.5%	38
2 内容は知らないが名称は聞いたことがある	41.3%	41.2%	47.4%	211
3 知らなかった	43.2%	42.9%	40.7%	181
0 無回答	4.5%	6.0%	3.4%	15
全体	-	-	-	445

⑮子どもの権利条約（1989年採択）

選択肢（単一回答）	H25構成比	H29構成比	R4構成比	R4回答数
1 どんな内容か知っている	16.0%	14.4%	16.4%	73
2 内容は知らないが名称は聞いたことがある	42.5%	45.8%	48.3%	215
3 知らなかった	36.0%	33.6%	32.1%	143
0 無回答	5.5%	6.2%	3.1%	14
全体	-	-	-	445



⑯女子差別撤廃条約（1979年採択）

選択肢（単一回答）	H25構成比	H29構成比	R4構成比	R4回答数
1 どんな内容か知っている	15.8%	14.4%	12.4%	55
2 内容は知らないが名称は聞いたことがある	43.7%	49.9%	49.4%	220
3 知らなかった	36.3%	30.2%	34.8%	155
0 無回答	4.3%	5.5%	3.4%	15
全体	-	-	-	445



⑰障害者基本法（1970年）

選択肢（単一回答）	H25構成比	H29構成比	R4構成比	R4回答数
1 どんな内容か知っている	13.1%	12.7%	10.8%	48
2 内容は知らないが名称は聞いたことがある	54.7%	53.0%	57.3%	255
3 知らなかった	26.5%	28.3%	28.3%	126
0 無回答	5.7%	6.0%	3.6%	16
全体	-	-	-	445



⑱同和对策審議会答申（1965年）

選択肢（単一回答）	H25構成比	H29構成比	R4構成比	R4回答数
1 どんな内容か知っている	13.8%	9.1%	8.3%	37
2 内容は知らないが名称は聞いたことがある	48.4%	46.0%	47.0%	209
3 知らなかった	32.7%	38.1%	41.3%	184
0 無回答	5.0%	6.7%	3.4%	15
全体	-	-	-	445



⑲人種差別撤廃条約（1965年採択）

選択肢（単一回答）	H25構成比	H29構成比	R4構成比	R4回答数
1 どんな内容か知っている	15.3%	9.8%	10.3%	46
2 内容は知らないが名称は聞いたことがある	48.4%	57.6%	53.9%	240
3 知らなかった	31.0%	26.9%	32.1%	143
0 無回答	5.3%	5.8%	3.6%	16
全体	-	-	-	445

⑳世界人権宣言（1948年採択）

選択肢（単一回答）	H25構成比	H29構成比	R4構成比	R4回答数
1 どんな内容か知っている	19.6%	18.0%	15.5%	69
2 内容は知らないが名称は聞いたことがある	57.8%	58.3%	60.9%	271
3 知らなかった	17.2%	17.7%	20.4%	91
0 無回答	5.5%	6.0%	3.1%	14
全体	-	-	-	445



問10 あなたは、次の人権に関わる問題が、現実の社会でどの程度存在していると思いますか。
（それぞれ1つに○）

①子どものいじめ・体罰・虐待等

選択肢（単一回答）	H25構成比	H29構成比	R4構成比	R4回答数
1 現実として存在する			71.0%	316
2 ある程度存在する			22.9%	102
3 どちらともいえない			1.3%	6
4 ほとんど存在しない			1.6%	7
5 存在しない			0.4%	2
0 無回答			2.7%	12
全体			-	445

②女性に対する差別

選択肢（単一回答）	H25構成比	H29構成比	R4構成比	R4回答数
1 現実として存在する			51.0%	227
2 ある程度存在する			34.8%	155
3 どちらともいえない			6.1%	27
4 ほとんど存在しない			4.3%	19
5 存在しない			0.9%	4
0 無回答			2.9%	13
全体			-	445

③障がい者に対する差別

選択肢（単一回答）	H25構成比	H29構成比	R4構成比	R4回答数
1 現実として存在する			54.8%	244
2 ある程度存在する			31.5%	140
3 どちらともいえない			5.4%	24
4 ほとんど存在しない			4.3%	19
5 存在しない			1.3%	6
0 無回答			2.7%	12
全体			-	445

④在日外国人に対する差別（ハイトスピーチ）

選択肢（単一回答）	H25構成比	H29構成比	R4構成比	R4回答数
1 現実として存在する			43.4%	193
2 ある程度存在する			33.3%	148
3 どちらともいえない			14.8%	66
4 ほとんど存在しない			4.5%	20
5 存在しない			1.1%	5
0 無回答			2.9%	13
全体			-	445

⑤アイヌの人々に対する差別

選択肢（単一回答）	H25構成比	H29構成比	R4構成比	R4回答数
1 現実として存在する			20.9%	93
2 ある程度存在する			26.7%	119
3 どちらともいえない			32.4%	144
4 ほとんど存在しない			12.4%	55
5 存在しない			3.8%	17
0 無回答			3.8%	17
全体			-	445

⑥同和問題（部落差別）

選択肢（単一回答）	H25構成比	H29構成比	R4構成比	R4回答数
1 現実として存在する			25.2%	112
2 ある程度存在する			33.5%	149
3 どちらともいえない			22.0%	98
4 ほとんど存在しない			13.4%	59
5 存在しない			3.1%	14
0 無回答			2.9%	13
全体			-	445

⑦高齢者に対する差別

選択肢（単一回答）	H25構成比	H29構成比	R4構成比	R4回答数
1 現実として存在する			21.3%	95
2 ある程度存在する			35.1%	156
3 どちらともいえない			24.9%	111
4 ほとんど存在しない			12.1%	54
5 存在しない			3.6%	16
0 無回答			2.9%	13
全体			-	445

⑧HIV感染者・ハンセン病患者・元患者に対する差別

選択肢（単一回答）	H25構成比	H29構成比	R4構成比	R4回答数
1 現実として存在する			24.5%	109
2 ある程度存在する			35.1%	156
3 どちらともいえない			23.4%	104
4 ほとんど存在しない			10.1%	45
5 存在しない			2.9%	13
0 無回答			4.0%	18
全体			-	445

⑨犯罪被害者やその家族への無配慮

選択肢（単一回答）	H25構成比	H29構成比	R4構成比	R4回答数
1 現実として存在する			37.1%	165
2 ある程度存在する			34.4%	153
3 どちらともいえない			17.1%	76
4 ほとんど存在しない			4.9%	22
5 存在しない			2.7%	12
0 無回答			3.8%	17
全体			-	445

⑩刑を終えて出所した人に対する差別

選択肢（単一回答）	H25構成比	H29構成比	R4構成比	R4回答数
1 現実として存在する			31.7%	141
2 ある程度存在する			36.4%	162
3 どちらともいえない			22.7%	101
4 ほとんど存在しない			3.6%	16
5 存在しない			2.5%	11
0 無回答			3.1%	14
全体			-	445

⑪性的マイノリティに対する差別

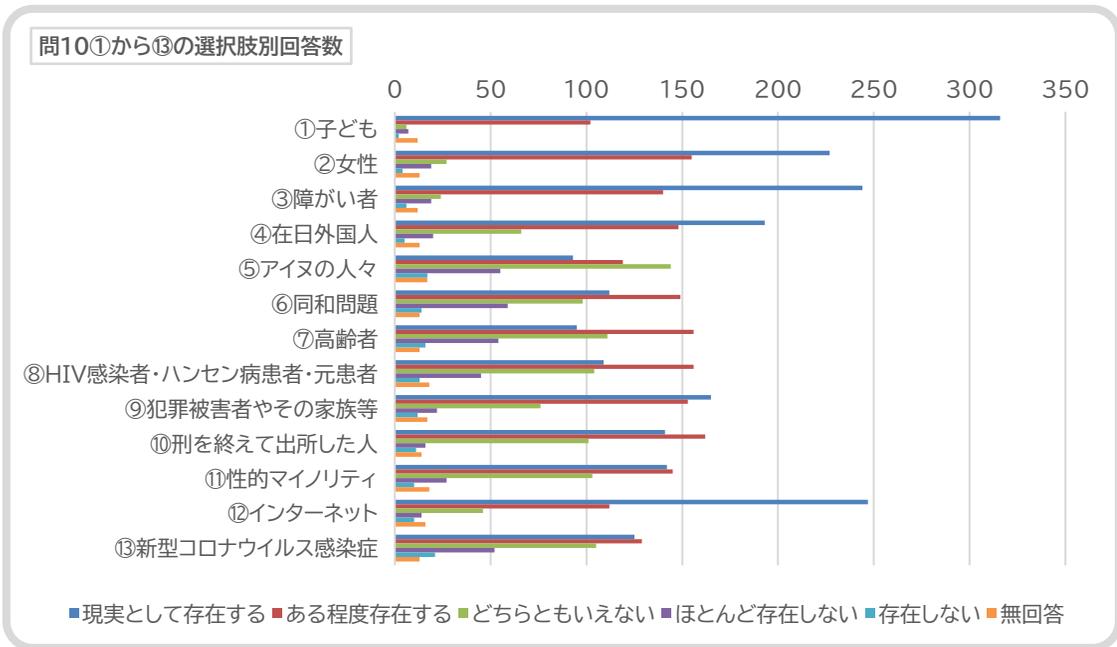
選択肢（単一回答）	H25構成比	H29構成比	R4構成比	R4回答数
1 現実として存在する			31.9%	142
2 ある程度存在する			32.6%	145
3 どちらともいえない			23.1%	103
4 ほとんど存在しない			6.1%	27
5 存在しない			2.2%	10
0 無回答			4.0%	18
全体			-	445

⑫インターネットによる人権侵害

選択肢（単一回答）	H25構成比	H29構成比	R4構成比	R4回答数
1 現実として存在する			55.5%	247
2 ある程度存在する			25.2%	112
3 どちらともいえない			10.3%	46
4 ほとんど存在しない			3.1%	14
5 存在しない			2.2%	10
0 無回答			3.6%	16
全体			-	445

⑬新型コロナウイルス感染症に関わる差別

選択肢（単一回答）	H25構成比	H29構成比	R4構成比	R4回答数
1 現実として存在する			28.1%	125
2 ある程度存在する			29.0%	129
3 どちらともいえない			23.6%	105
4 ほとんど存在しない			11.7%	52
5 存在しない			4.7%	21
0 無回答			2.9%	13
全体			-	445



[考察]

設問「問10」は新設の設問で、各種人権に関わる問題の存在程度について尋ねたものであるが、「①子ども」「②女性」「③障がい者」「④在日外国人」「⑫インターネット」において「現実として存在する」「ある程度存在する」の比率が突出して高い割合を示した。

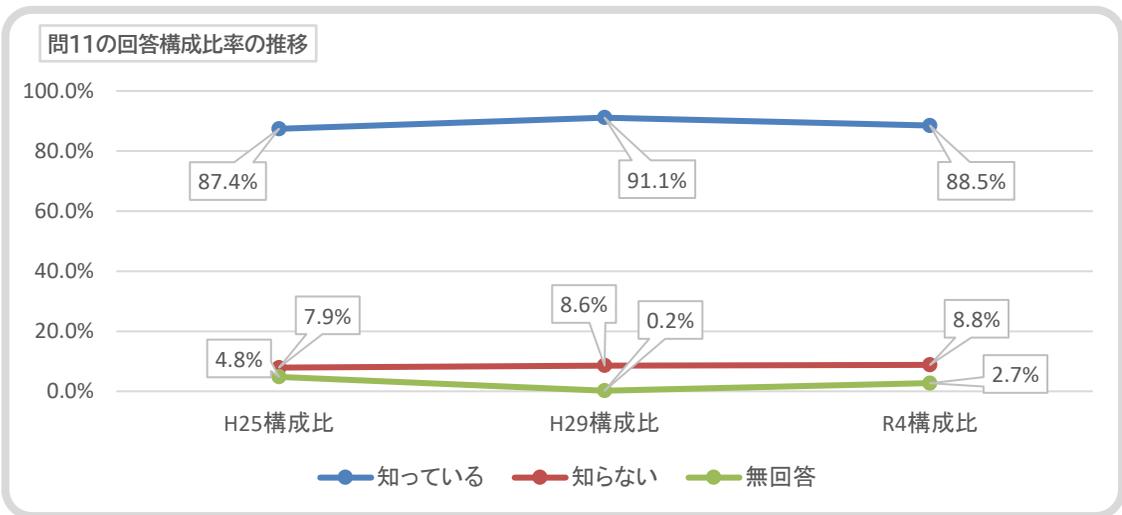
「⑤アイヌの人々」「⑥同和問題」「⑦高齢者」では「ほとんど存在しない」「存在しない」の比率が他と比較して高い割合を示している。

近年新たな人権課題となっている「⑨犯罪被害者やその家族等」「⑪性的マイノリティ」「⑬新型コロナウイルス感染症」については「現実として存在する」「ある程度存在する」の比率が高く、新たな人権課題についての市民の関心の高さが見受けられる。

■同和問題についておたずねします

問11 あなたは、日本の社会に「被差別部落」「同和地区」あるいは「部落」と呼ばれ、差別を受けている地区があることや、差別をうけている住民がいること、いわゆる「同和問題」を知っていますか。
(1つに○)

選択肢 (単一回答)	H25構成比	H29構成比	R4構成比	R4回答数
1 知っている 【 → 問11付問へ 】	87.4%	91.1%	88.5%	394
2 知らない	7.9%	8.6%	8.8%	39
0 無回答	4.8%	0.2%	2.7%	12
全体	-	-	-	445



【考察】

設問「問11」においては、「知っている」の全体に対する比率がH25は87.4%、H29は91.1%、今回調査では88.5%と、非常に高い割合を占めている。「知らない」も僅かずつではあるが増加しているが、全体に対する比率はH25は7.9%、H29は8.6%、今回調査では8.8%と、ほぼ横ばいとなっている。

次の設問「問11付問」の結果にもあるとおり、学校での教育をきっかけとして同和問題を認知した回答者が半数近くを占めていることから、幼少期からの人権教育が有効であると推測される。

なお、今回「問11付問」に選択肢「インターネット・SNSで知った」を追加したが、0.3% (回答数1件) のみにとどまった。

問11付問 あなたが同和問題についてはじめて知ったきっかけは何ですか。(1つに○)

選択肢(単一回答)	H25構成比	H29構成比	R4構成比	R4回答数
1 家族から聞いた	26.5%	30.5%	21.8%	86
2 親戚の人から聞いた	1.4%	1.3%	1.8%	7
3 近所の人から聞いた	3.3%	2.1%	3.6%	14
4 職場の人から聞いた	2.2%	1.3%	2.0%	8
5 学校の友達から聞いた	2.2%	2.6%	2.3%	9
6 学校の授業で教わった	39.6%	44.5%	42.1%	166
7 テレビ・ラジオ・新聞・本などで知った	4.9%	4.5%	4.3%	17
8 同和問題の集会や研修会で知った	9.6%	6.1%	3.8%	15
9 県や市町村の広報誌や冊子で知った	0.8%	1.3%	1.5%	6
10 インターネットやSNSで知った			0.3%	1
11 はっきりおぼえていない	7.4%	5.8%	6.9%	27
12 その他	1.1%	0.0%	1.5%	6
0 無回答	1.1%	0.0%	8.1%	32
全体	-	-	-	394

「12 その他」(6件)の自由記述

- ・学生時代、駅前のチラシで。
- ・小学生時代、親から聞いたことが有る。
- ・30年位前は常会9軒同和3軒で気を使いました。今は常会4軒同和1軒で仲良く毎日話をしています。
- ・私の子供がまだ小学生の頃、同じ小学校区に、放課後、その子供達のみが集まる集会所があり、勉強を教えてもらったり、集団でどこかへ出かけたりしていた。逆差別との声もあった。
- ・こどもの頃から自然に知っていた。
- ・未記入(1件)

問12 あなたが家や土地を購入する際に、同和地区や同和地区出身者が住んでいる周辺を避けることがあると思いますか。(1つに○)

選択肢(単一回答)	H25構成比	H29構成比	R4構成比	R4回答数
1 避けると思う	10.7%	11.0%	9.9%	44
2 こだわらない	52.5%	50.6%	52.6%	234
3 わからない	29.1%	35.0%	30.6%	136
0 無回答	7.6%	3.4%	7.0%	31
全体	-	-	-	445

問13 あなたは「同和地区の人はこわい」というような話をきいたことがありますか。(1つに○)

選択肢(単一回答)	H25構成比	H29構成比	R4構成比	R4回答数
1 ある【→問13付問1・2へ】	24.3%	23.5%	20.4%	91
2 ない	68.7%	72.7%	73.9%	329
0 無回答	6.9%	3.8%	5.6%	25
全体	-	-	-	445

問13付問1 それは誰から聞きましたか。(〇はいくつでも)

選択肢 (複数回答)	H25構成比	H29構成比	R4構成比	R4回答数
1 家族	31.4%	10.2%	39.6%	36
2 親戚	11.8%	12.2%	11.0%	10
3 近所の人	24.5%	25.5%	20.9%	19
4 友人	28.4%	22.4%	19.8%	18
5 職場の人	15.7%	14.3%	14.3%	13
6 学校の先生	2.0%	1.0%	2.2%	2
7 県や市町村の職員	3.9%	2.0%	0.0%	0
8 インターネットやSNSで知った			3.3%	3
9 その他	11.8%	11.2%	12.1%	11

「9 その他」(11件)の自由記述

- ・小学校の授業。
- ・おばあちゃん。
- ・在職中、グループ討議の時に、同和地区の人がいて、その人に質問をしたら、言葉使いは悪いし、ケンカごしの怒号で、非常に怖い思いをした事があります。
- ・エセ同和。
- ・幼ない頃、家族も近所の人も言っていた。
- ・別に関係ないと思っています。
- ・寺の住職に「かける言葉に気をつけなさい」と聞いたことがある。
- ・誰からということはなく自然に…。
- ・具体的にはわからない。いつの間にか。小学生の頃に。
- ・昔の話としてきいた。
- ・未記入(1件)

問13付問2 その話を聞いたとき、どう感じましたか。(1つに〇)

選択肢 (単一回答)	H25構成比	H29構成比	R4構成比	R4回答数
1 そのとおりだと思った	6.9%	6.1%	5.5%	5
2 そういう見方もあると思った	56.9%	57.1%	51.6%	47
3 疑問や反発を感じた	17.6%	15.3%	26.4%	24
4 特に何も思わなかった	11.8%	14.3%	15.4%	14
0 無回答	6.9%	7.1%	1.1%	1
全体	-	-	-	91

問14 学校や職場、日常生活の中で、誰かが「同和地区」の人に対する差別的な発言をしたとき、あなたはどのような態度をとりますか。または、とると思いますか。（1つに○）

選択肢（単一回答）	H25構成比	H29構成比	R4構成比	R4回答数
1 差別的な発言であることを伝え、話し合う（と思う）	40.6%	39.3%	40.0%	178
2 気づかなかつた振りをする（と思う）	39.9%	45.1%	43.6%	194
3 おもて向きは話を合わせ、自分も差別的な言葉を口にしてしまう（と思う）	3.8%	4.6%	3.1%	14
4 その他	7.2%	7.4%	6.3%	28
0 無回答	8.6%	3.6%	7.0%	31
全体	-	-	-	445

「4 その他」（28件）の自由記述

- ・差別的な発言だと伝えるが否定はしない。
- ・発言が差別的なものであることに気付かない。
- ・「同和地区」を知らないので、気づかない。
- ・差別的な発言であることは伝えるが話し合わない。
- ・今時、こんな場面ありますか？
- ・分からない。
- ・話題を変える。
- ・差別した人を軽べつ又は非難する。
- ・わからない。
- ・差別的な発言であることを伝えるが、話し合いはしない。
- ・1の様にしたいが詳しく分からないのでスルーしてしまうと思う。
- ・人間性によると思う。
- ・無視をしてその場をはなれる。
- ・その人との関係性や上下関係に応じて対応を変える。
- ・同和地区とか、部落とか知らない。
- ・私は気にしません。発言もしません。
- ・同調もしないし反論もしないと思う。
- ・そのような発言をした相手によって、とる態度も変わるから何とも言えない。
- ・同和地区の話がでたら話題を変える、知らないので。
- ・そういう人なんだと思い、相手にしない。
- ・どうして差別的な発言をしたのか、理由をたずねる。
- ・あいづちをうって、そのままさらっとながす。
- ・今までにそのような事がなかったので、考えたことがない。今時、人前でそのような発言をする人がいると思えない。
- ・昔話として出ても、今現在の会話で出るとは思えません。
- ・その話題を終わらせる。違う話題をふる。
- ・わからないと言う。
- ・相手との関係性による。親しい人なら話し合う。そうでなければ、気になるが聞き流す。
- ・自分も気づかず口にしてしまう。

問15 あなた自身、あるいはあなたの親族や知人が、同和地区の人との結婚に関して、もめたり、反対にあったりしたことや、聞いたことがありますか。（1つに○）

選択肢（単一回答）	H25構成比	H29構成比	R4構成比	R4回答数
1 自分自身あるいは親族や知人が、もめたり、反対にあったことがある	0.7%	0.5%	4.0%	18
2 自分にはそうした経験はないが、親族や知人がもめたり、反対にあったことがある、または聞いたことがある	41.8%	37.6%	36.9%	164
3 自分の経験にもないし、聞いたこともない	51.3%	60.2%	56.2%	250
0 無回答	6.2%	1.7%	2.9%	13
全体	-	-	-	445

問16 現在、同和地区の人たちは、結婚する際に、同和地区出身者であることを理由に反対されることがあると思いますか。（1つに○）

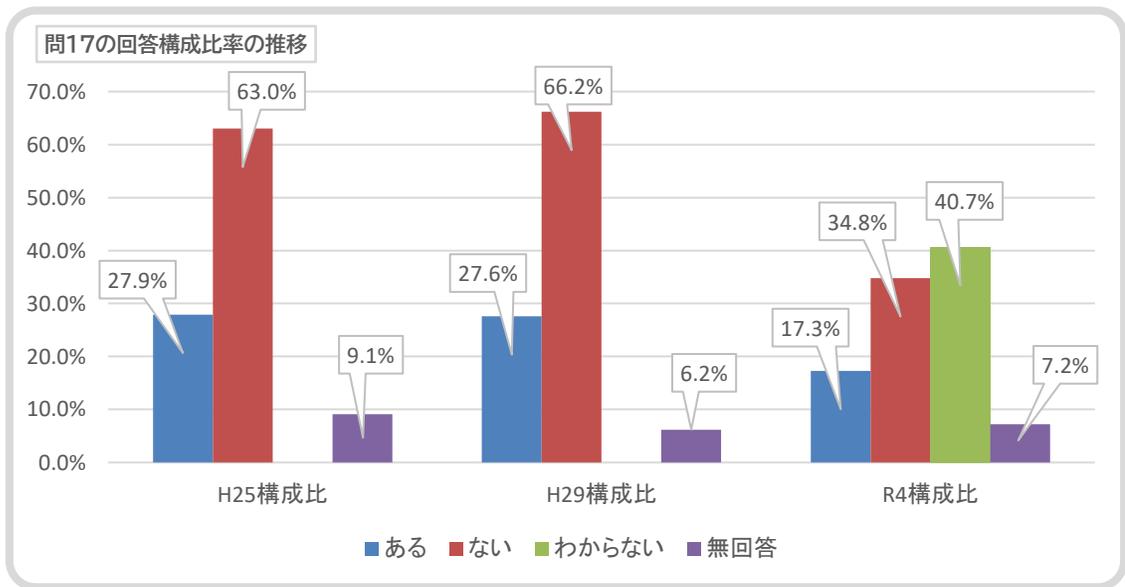
選択肢（単一回答）	H25構成比	H29構成比	R4構成比	R4回答数
1 反対されることがあると思う 【 → 問16付問へ 】	11.9%	10.6%	17.5%	78
2 たまに反対されることがあると思う 【 → 問16付問へ 】	28.6%	27.6%	29.4%	131
3 反対されることはないと思う	10.5%	7.7%	16.9%	75
4 わからない	40.8%	49.6%	32.8%	146
0 無回答	8.1%	4.6%	3.4%	15
全体	-	-	-	445

問16付問 それは、近い将来なくすことができますか。（1つに○）

選択肢（単一回答）	H25構成比	H29構成比	R4構成比	R4回答数
1 完全になくすことができる	10.0%	9.4%	9.6%	20
2 かなりなくすことができる	54.7%	59.7%	58.9%	123
3 なくすことは難しい	34.1%	30.8%	29.7%	62
0 無回答	1.2%	0.0%	1.9%	4
全体	-	-	-	209

問17 あなたご自身、同和地区に住んでいる人との付き合いはありますか。（1つに○）

選択肢（単一回答）	H25構成比	H29構成比	R4構成比	R4回答数
1 ある 【 → 問17付問へ 】	27.9%	27.6%	17.3%	77
2 ない	63.0%	66.2%	34.8%	155
3 わからない			40.7%	181
0 無回答	9.1%	6.2%	7.2%	32
全体	-	-	-	445



【考察】
 設問「問17」においては、「ある」が減少傾向を示している。
 また、今回調査で新たに選択肢「わからない」を追加したところ、「ない」を上回る回答数となった。
 このことから、同和問題における「同和地区」と呼ばれる地域に関する偏見が薄まり、居住している地域によって差別をするような考え方を持つ市民が明確に減少しているといえる根拠となり得ると推察される。

問17付問 その方との付き合いは、どの程度ありますか。(〇はいくつでも)

選択肢(複数回答)	H25構成比	H29構成比	R4構成比	R4回答数
1 近所付き合いをしている	27.4%	29.6%	31.2%	24 ↑
2 自治会、婦人会などのメンバーとして付き合い合っている	27.4%	26.1%	13.0%	10 ↓
3 福祉や教育のことなどでの地域の取り組みを一緒にしている	9.4%	11.3%	7.8%	6
4 同じ職場や仕事上の関係で付き合いがある	39.3%	28.7%	33.8%	26
5 趣味の会や講習会などで習っている	12.8%	7.8%	19.5%	15
6 盆踊りやまつり、スポーツなどを一緒にしている	17.9%	10.4%	15.6%	12
7 学生時代から付き合い合っている友人である	21.4%	34.8%	27.3%	21
8 その他	7.7%	9.6%	10.4%	8 ↑

「8 その他」(8件)の自由記述

- ・会社員時代に仕事上で。
- ・今はコロナで会えないけれど、年に数回旅行など楽しんでいます。
- ・授業で同和地区について学ぶ前から交流があったし、その後も変わらず接っている。
- ・親が仲よくしていた。
- ・親戚にいます。
- ・地区の友人として。
- ・娘が結婚している。
- ・未記入(1件)

問18 同和問題をなくすため、次にあげる意見はどの程度重要だと思いますか。①～⑧のすべてについてお答えください。（それぞれ1つに○）

①行政が同和地区住民の「自立」を支援する取り組みを充実する

選択肢（単一回答）	H25構成比	H29構成比	R4構成比	R4回答数
1 非常に重要	13.6%	13.4%	19.1%	85
2 やや重要	22.7%	25.7%	32.6%	145
3 あまり重要でない	20.3%	16.5%	16.0%	71
4 重要ではない	13.6%	11.3%	7.4%	33
5 わからない	20.0%	26.6%	17.5%	78
0 無回答	9.8%	6.5%	7.4%	33
全体	-	-	-	445



②同和地区の人々が、かたまって住まないで、分散して住むようにする

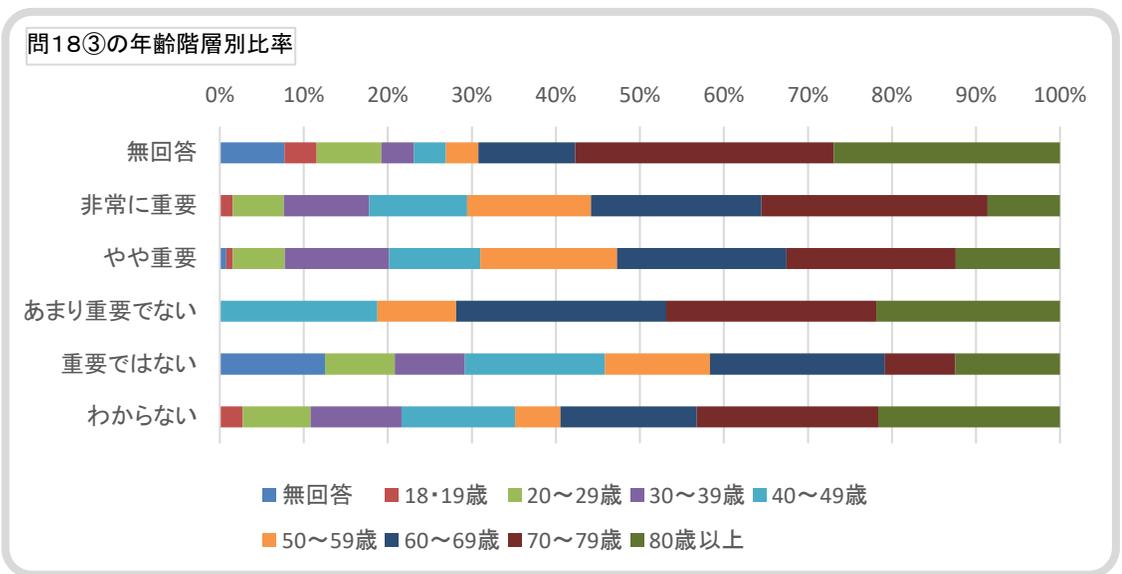
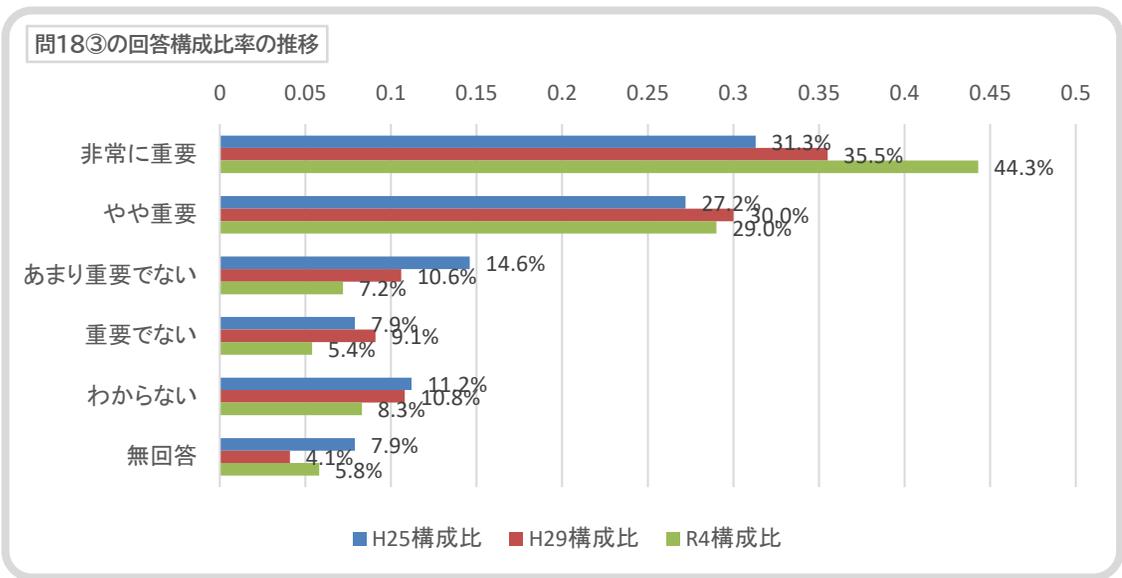
選択肢（単一回答）	H25構成比	H29構成比	R4構成比	R4回答数
1 非常に重要	10.7%	8.6%	10.1%	45
2 やや重要	22.7%	21.3%	23.6%	105
3 あまり重要でない	17.2%	23.0%	24.5%	109
4 重要ではない	15.3%	12.9%	10.8%	48
5 わからない	25.3%	28.8%	24.7%	110
0 無回答	8.8%	5.3%	6.3%	28
全体	-	-	-	445



③学校教育・社会教育を通じて、差別意識をなくし、人権を大切にする教育・啓発活動を積極的に行う

選択肢（単一回答）	H25構成比	H29構成比	R4構成比	R4回答数
1 非常に重要	31.3%	35.5%	44.3%	197
2 やや重要	27.2%	30.0%	29.0%	129
3 あまり重要でない	14.6%	10.6%	7.2%	32
4 重要ではない	7.9%	9.1%	5.4%	24
5 わからない	11.2%	10.8%	8.3%	37
0 無回答	7.9%	4.1%	5.8%	26
全体	-	-	-	445





【考察】
 設問「問18③」においては、「非常に重要」が増加傾向を示している一方、「あまり重要でない」「わからない」が減少傾向を示している。
 年齢階層別にみると、「非常に重要」「やや重要」と回答した回答者のうちおよそ80%を40歳以上の年代が占めている。また、39歳以下で「あまり重要でない」と回答した回答者は皆無、「重要ではない」と回答した39歳以下の回答者数（4件）は、39歳以下の全回答者数（76件）の5.3%にとどまっている。
 同和問題の解消については、学校教育・社会教育が重要な役割を帯びていることや、教育・啓発活動の必要性を市民が意識しており、行政として教育・啓発に継続して注力していくことが肝心である。

④差別を法律で禁止する

選択肢（単一回答）	H25構成比	H29構成比	R4構成比	R4回答数
1 非常に重要	21.0%	19.2%	26.1%	116
2 やや重要	18.9%	22.5%	27.2%	121
3 あまり重要でない	19.6%	15.8%	15.1%	67
4 重要ではない	11.2%	12.2%	7.6%	34
5 わからない	20.5%	25.9%	18.2%	81
0 無回答	8.8%	4.3%	5.8%	26
全体	-	-	-	445

⑤戸籍制度を大幅に見直す・廃止する

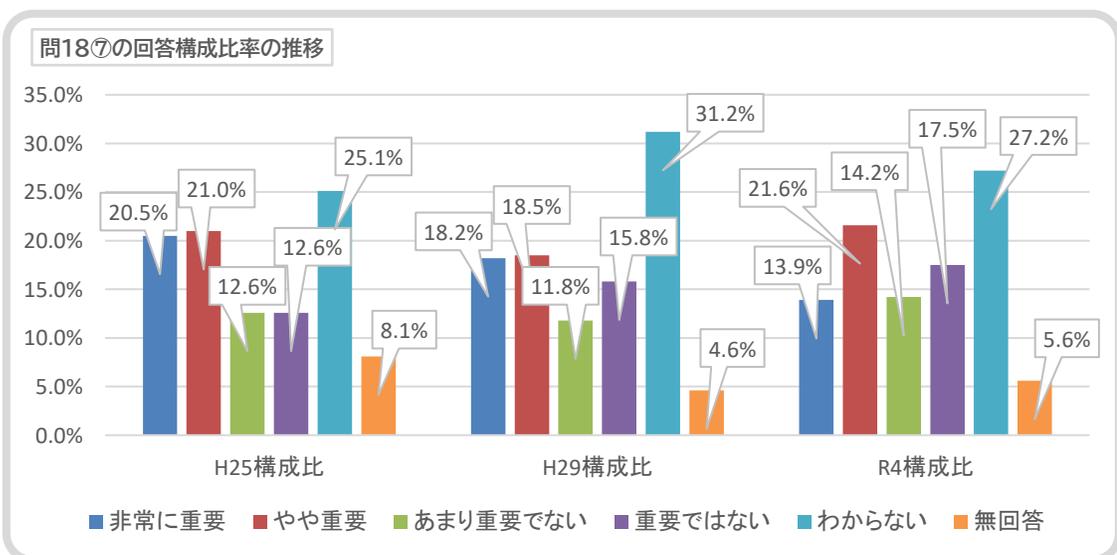
選択肢（単一回答）	H25構成比	H29構成比	R4構成比	R4回答数
1 非常に重要	13.8%	11.5%	15.5%	69
2 やや重要	13.4%	14.4%	16.4%	73
3 あまり重要でない	17.9%	16.3%	18.8%	84
4 重要ではない	13.1%	13.7%	10.8%	48
5 わからない	32.2%	38.4%	31.0%	138
0 無回答	9.5%	5.8%	7.4%	33
全体	-	-	-	445

⑥同和地区住民が差別されないようもっと努力する

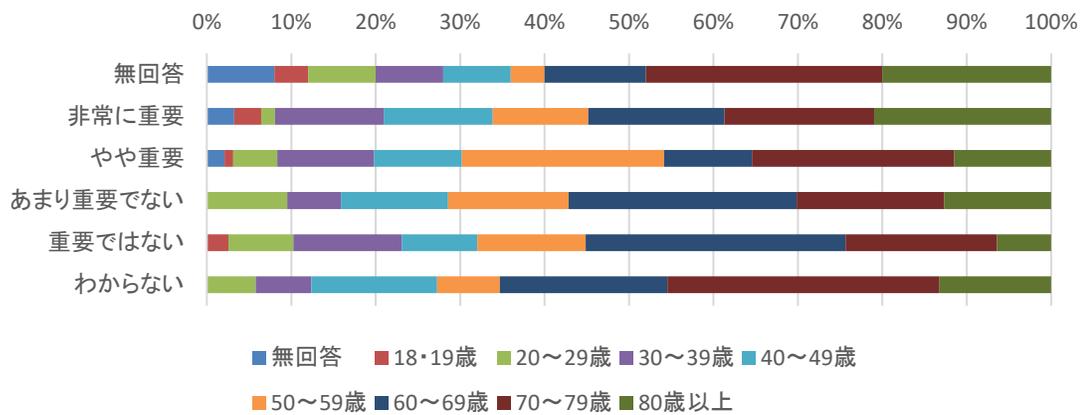
選択肢（単一回答）	H25構成比	H29構成比	R4構成比	R4回答数
1 非常に重要	17.4%	18.0%	18.4%	82
2 やや重要	22.7%	26.6%	22.9%	102
3 あまり重要でない	21.5%	16.1%	20.4%	91
4 重要ではない	9.3%	11.3%	15.5%	69
5 わからない	20.5%	23.0%	16.4%	73
0 無回答	8.6%	5.0%	6.3%	28
全体	-	-	-	445

⑦「同和地区」のことは「差別」があることを口に出さないで、そっとしておけば、自然に「差別」はなくなる

選択肢（単一回答）	H25構成比	H29構成比	R4構成比	R4回答数
1 非常に重要	20.5%	18.2%	13.9%	62
2 やや重要	21.0%	18.5%	21.6%	96
3 あまり重要でない	12.6%	11.8%	14.2%	63
4 重要ではない	12.6%	15.8%	17.5%	78
5 わからない	25.1%	31.2%	27.2%	121
0 無回答	8.1%	4.6%	5.6%	25
全体	-	-	-	445



問18⑦の年齢階層別比率



[考察]

設問「問18⑦」においては、「非常に重要」が減少傾向を示している一方、「重要ではない」が増加傾向を示している。

また、H29と比較して今回調査では「わからない」を選択した回答が減少している。

年齢階層別にみると、「非常に重要」「やや重要」は年代を問わず同程度の割合の回答を得ている。

いわゆる「寝た子を起こすな」論についての設問となるが、時間の経過を待ち沈静化させるのではなく、積極的に研修等で人権教育・啓発を継続していくことが、市民が関心と正しい知識を持つことにつながると推察される。

⑧部落差別をなくすために、一人一人が努力しなければならない

選択肢 (単一回答)	H25構成比	H29構成比	R4構成比	R4回答数
1 非常に重要	36.5%	37.9%	38.4%	171 ↑
2 やや重要	24.6%	26.6%	27.2%	121 ↑
3 あまり重要でない	10.7%	10.6%	11.2%	50
4 重要ではない	5.0%	3.8%	2.7%	12 ↓
5 わからない	14.8%	16.8%	15.1%	67
0 無回答	8.4%	4.3%	5.4%	24
全体	-	-	-	445

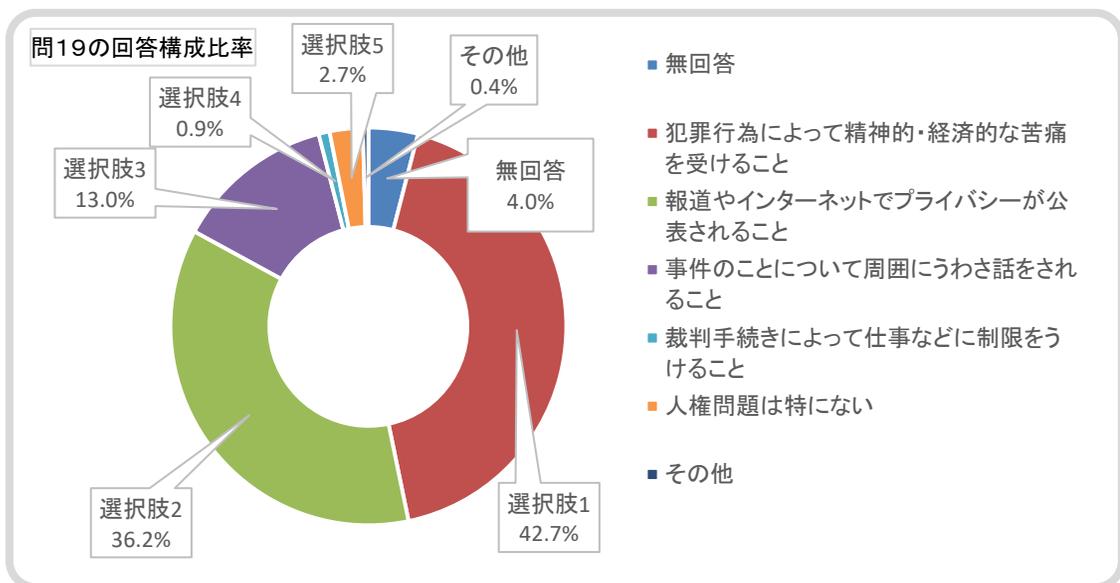
■犯罪被害者やその家族の人権問題についておたずねします

問19 あなたは、犯罪の被害者やその家族が受けている人権侵害の中でもっとも問題だと思うものはどれですか。（1つに○）

選択肢（単一回答）	H25構成比	H29構成比	R4構成比	R4回答数
1 犯罪行為によって精神的・経済的な苦痛を受けること			42.7%	190
2 報道やインターネットでプライバシーが公表されること			36.2%	161
3 事件のことについて周囲にうわさ話をされること			13.0%	58
4 裁判手続きによって仕事などに制限をうけること			0.9%	4
5 人権問題は特にない			2.7%	12
6 その他			0.4%	2
0 無回答			4.0%	18
全体			-	445

「6 その他」（2件）の自由記述

- ・安倍首相死、統一教会、ニュースでのみ知る事もあります。
- ・簡単に答えるべきものではない。当事者でしか分からないものがあるので。

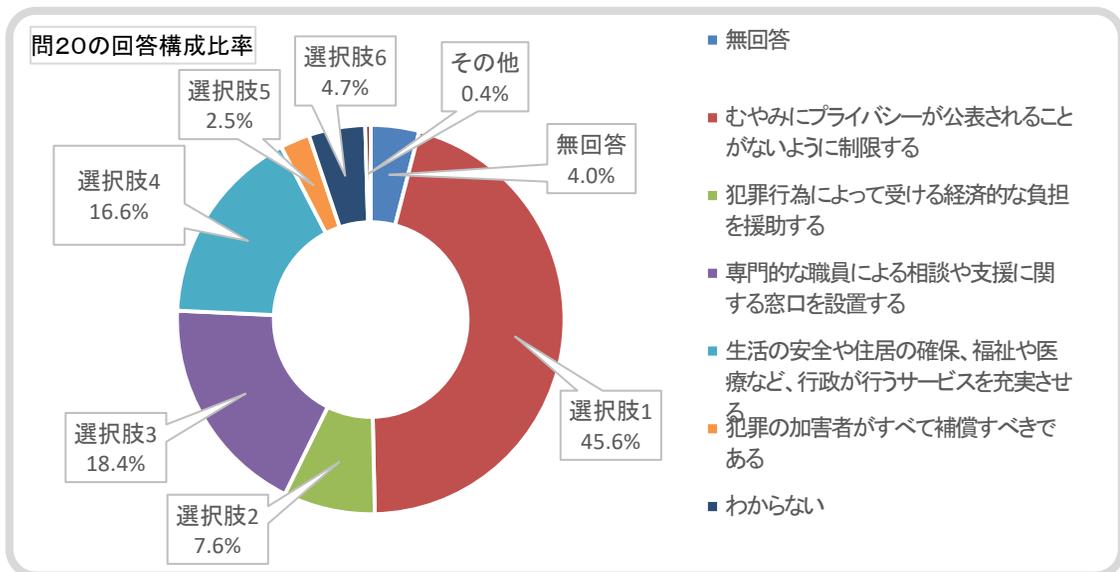


問20 犯罪の被害者やその家族を支援するためにはどんなことが必要ですか。（1つに○）

選択肢（単一回答）	H25構成比	H29構成比	R4構成比	R4回答数
1 むやみにプライバシーが公表されないように制限する			45.6%	203
2 犯罪行為によって受ける経済的な負担を援助する			7.6%	34
3 専門的な職員による相談や支援に関する窓口を設置する			18.4%	82
4 生活の安全や住居の確保、福祉や医療など、行政が行うサービスを充実させる			16.6%	74
5 犯罪の加害者がすべて補償すべきである			2.5%	11
6 わからない			4.7%	21
7 その他			0.4%	2
0 無回答			4.0%	18
全体			-	445

「7 その他」（2件）の自由記述

- ・ 家族への支援は必要かもしれないけど、犯罪者への支援は…最低限で良いのでは?悪いことをした訳なんだから、そこまでの支援はあるのか考えてしまう。被害者の気持ちになると。
- ・ 対象者の立場に立った対応。個人個人望んでいることが違うと思うから。



【考察】

設問「問19」「問20」は新設の設問。
 犯罪行為によって受けた直接的な被害及びその支援を重視する回答、次いでプライバシーの公表に関して懸念する回答が高い比率を示した。
 今後、犯罪被害者等を支援していくうえで重点とすべき事項であることを物語っている。

■性の多様性についておたずねします

問21 あなたは、今まで自分の性別について悩んだことがありますか。（1つに○）

選択肢（単一回答）	H25構成比	H29構成比	R4構成比	R4回答数
1 ある			1.3%	6
2 ない			96.0%	427
0 無回答			2.7%	12
全体			-	445

[考察]

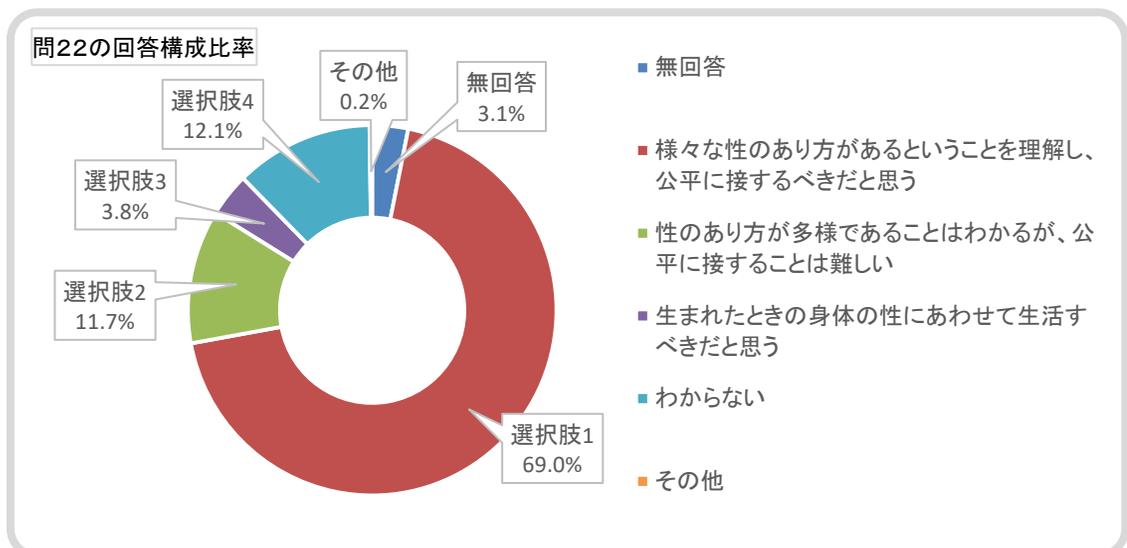
設問「問21」は新設の設問で、性的マイノリティの割合は人口の3~5%いるといわれている（諸説あり）が、今回調査では自身の性別について疑問を感じているとする回答が全体の1.3%存在している。

問22 性的マイノリティの人について、あなたはどう感じますか。（1つに○）

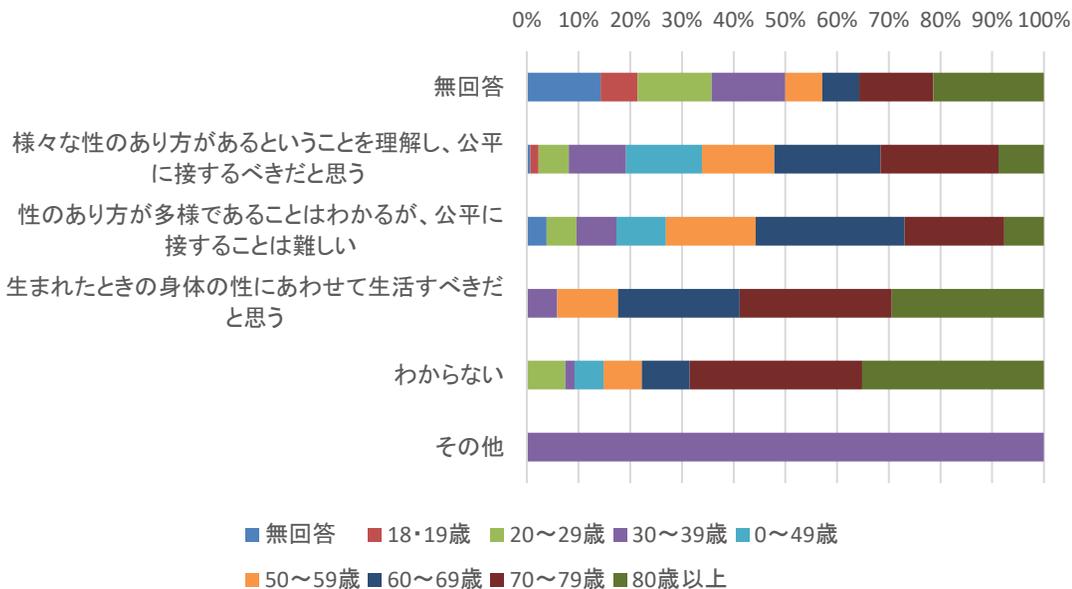
選択肢（単一回答）	H25構成比	H29構成比	R4構成比	R4回答数
1 様々な性のあり方があるということを理解し、公平に接するべきだと思う			69.0%	307
2 性のあり方が多様であることはわかるが、公平に接することは難しい			11.7%	52
3 生まれたときの身体の性にあわせて生活すべきだと思う			3.8%	17
4 わからない			12.1%	54
5 その他			0.2%	1
0 無回答			3.1%	14
全体			-	445

「5 その他」（1件）の自由記述

- ・人によって違う。自分に恋愛感情を持つ同性には公平に接せられないか、そうでなければ公平に接せれる。



問22の年齢階層別比率



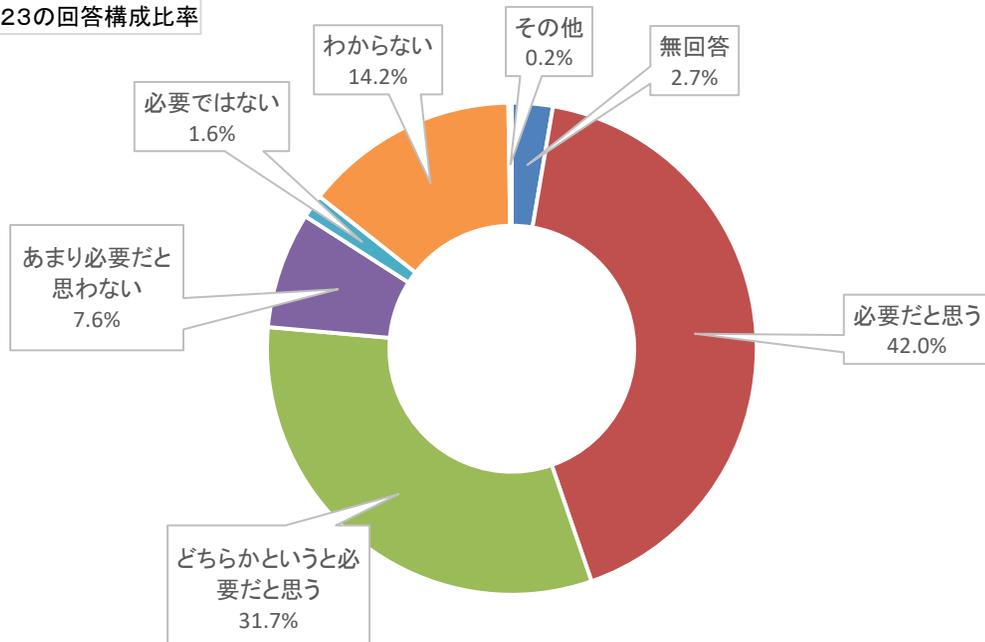
問23 性の多様性を認め合える社会をつくるための取り組みが必要だと思いますか。（1つに○）

選択肢（単一回答）	H25構成比	H29構成比	R4構成比	R4回答数
1 必要だと思う			42.0%	187
2 どちらかというが必要だと思う			31.7%	141
3 あまり必要だと思わない			7.6%	34
4 必要ではない			1.6%	7
5 わからない			14.2%	63
6 その他			0.2%	1
0 無回答			2.7%	12
全体			-	445

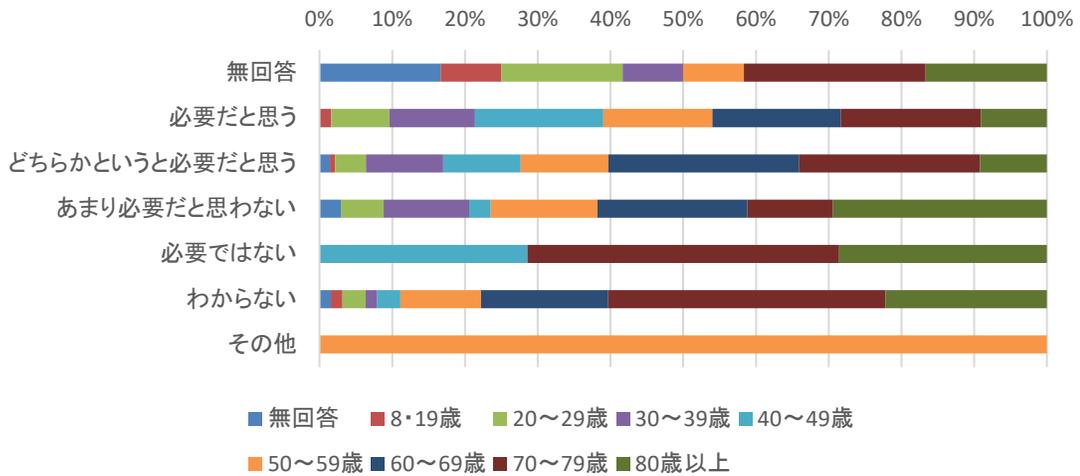
「6 その他」（1件）の自由記述

・個人の自由なのだから、取り組む必要性より、そっとするのが重要と思う。

問23の回答構成比率



問23の年齢階層別比率



[考察]

設問「問22」「問23」は新設の設問。

「問22」において、「様々な性のあり方があるということを理解し、公平に接するべきだと思う」とする回答が全体の69.0%を占める一方、11.7%が公平に接することが難しいと回答している。年齢階層別比率では、29歳以下の年代では「生まれたときの身体にあわせて生活すべきだと思う」を選択した回答が皆無であったことが特徴的である。

「問23」においては、性の多様性を認め合える社会を形成するための取り組みを必要とする旨の回答が73.7%、必要と思わない旨の回答が9.2%存在している。

年齢階層別比率では、「必要ではない」を選択した回答者が一部の年代に限られている。今後パートナーシップ制度の導入を検討するにあたり、優先的に啓発活動等に取り組む必要がある課題であるといえる。

■さまざまな人権問題についておたずねします

問24 人権に関する問題をめぐり、さまざまな意見がありますが、あなたはどのように思いますか。それぞれの人権問題の各項目すべてにお答えください。(それぞれ1つに○)

(1) 女性の人権問題

①結婚しても、必ず子どもをもつ必要はない

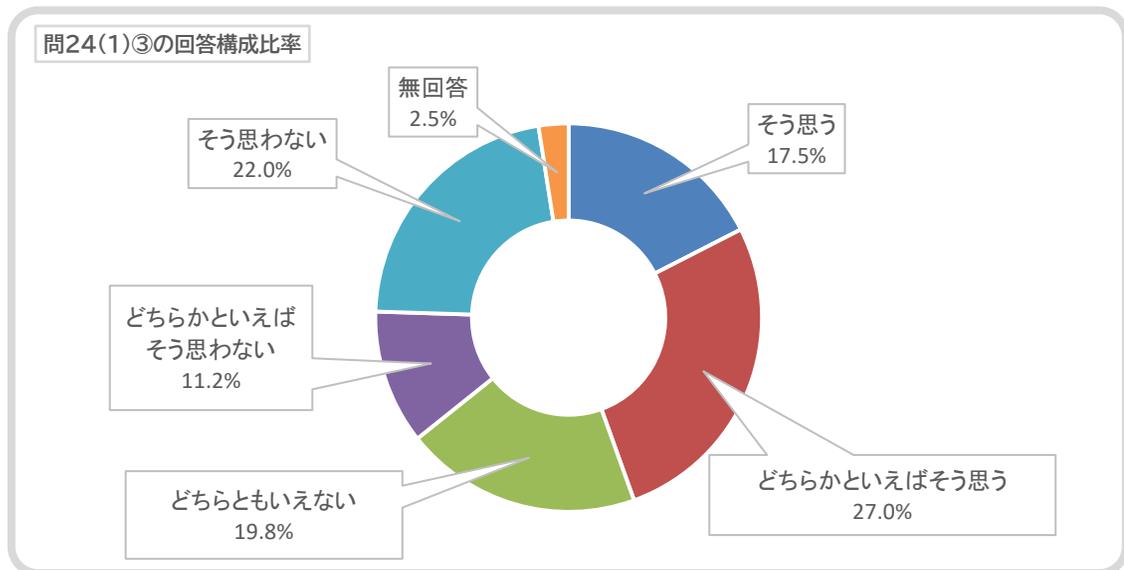
選択肢(単一回答)	H25構成比	H29構成比	R4構成比	R4回答数
1 そう思う	29.1%	34.5%	40.4%	180 ↑
2 どちらかといえばそう思う	14.8%	14.1%	20.9%	93
3 どちらともいえない	25.1%	28.3%	23.1%	103
4 どちらかといえばそう思わない	9.1%	10.6%	6.3%	28
5 そう思わない	17.4%	10.6%	6.3%	28 ↓
0 無回答	4.5%	1.9%	2.9%	13
全体	-	-	-	445

②夫婦で別々の姓を名のりたい人は、名のることができるようにしたほうがよい

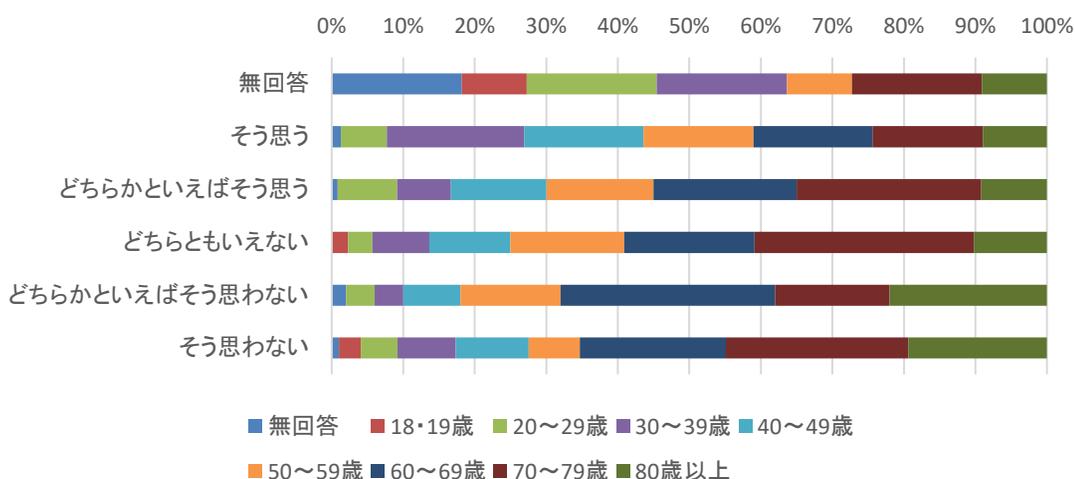
選択肢（単一回答）	H25構成比	H29構成比	R4構成比	R4回答数
1 そう思う	24.3%	27.1%	38.0%	169
2 どちらかといえばそう思う	16.2%	18.2%	21.8%	97
3 どちらともいえない	22.9%	28.1%	21.8%	97
4 どちらかといえばそう思わない	11.9%	8.9%	7.2%	32
5 そう思わない	20.0%	16.3%	8.5%	38
0 無回答	4.5%	1.4%	2.7%	12
全体	-	-	-	445

③いまだに「男は仕事、女は家庭」という意識がある

選択肢（単一回答）	H25構成比	H29構成比	R4構成比	R4回答数
1 そう思う	3.8%	2.9%	17.5%	78
2 どちらかといえばそう思う	6.9%	4.1%	27.0%	120
3 どちらともいえない	23.2%	18.7%	19.8%	88
4 どちらかといえばそう思わない	13.1%	18.0%	11.2%	50
5 そう思わない	48.4%	54.9%	22.0%	98
0 無回答	4.5%	1.4%	2.5%	11
全体	-	-	-	445



問24(1)③の年齢階層別比率



【考察】

設問「問24(1)③」においては、H25・H29と比較し「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を選択した回答者が激増している。特に「そう思う」と回答した回答者の割合は、H29は2.9%であったのに対し、今回約6倍の17.5%と急激に増加した。年齢階層別比率をみても、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の選択はどの年代でも一定数の割合を占めている。性的マイノリティの理解の啓発を進める一方で性差の意識を感じる機会が高まっていることが危惧され、今後の人権教育・啓発の重点的な課題となることを示している。

④地域の行事などでは、力仕事は男性、接待は女性の方がよい

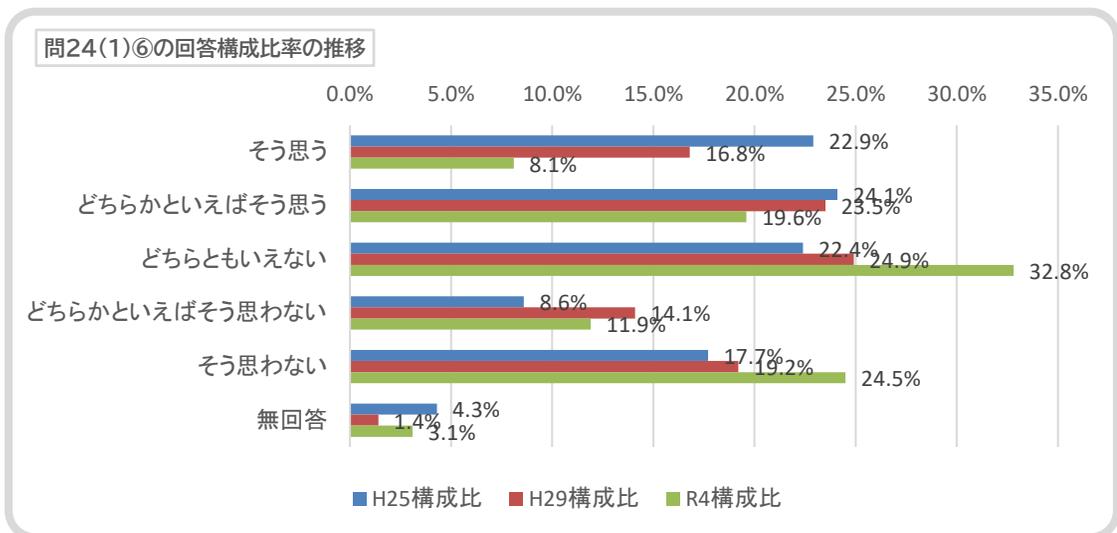
選択肢 (単一回答)	H25構成比	H29構成比	R4構成比	R4回答数
1 そう思う	12.9%	6.0%	7.6%	34
2 どちらかといえばそう思う	24.6%	22.5%	21.8%	97
3 どちらともいえない	24.6%	30.7%	35.1%	156
4 どちらかといえばそう思わない	11.7%	15.6%	13.3%	59
5 そう思わない	21.5%	23.5%	19.3%	86
0 無回答	4.8%	1.7%	2.9%	13
全体	-	-	-	445

⑤女性が責任ある役職につくことに抵抗がある

選択肢 (単一回答)	H25構成比	H29構成比	R4構成比	R4回答数
1 そう思う	3.3%	1.9%	1.6%	7
2 どちらかといえばそう思う	4.1%	3.4%	3.6%	16
3 どちらともいえない	12.4%	16.3%	13.5%	60
4 どちらかといえばそう思わない	17.9%	22.5%	24.7%	110
5 そう思わない	57.5%	54.2%	53.7%	239
0 無回答	4.8%	1.7%	2.9%	13
全体	-	-	-	445

⑥子育ての間は、母親は育児に専念したほうがよい

選択肢（単一回答）	H25構成比	H29構成比	R4構成比	R4回答数
1 そう思う	22.9%	16.8%	8.1%	36
2 どちらかといえばそう思う	24.1%	23.5%	19.6%	87
3 どちらともいえない	22.4%	24.9%	32.8%	146
4 どちらかといえばそう思わない	8.6%	14.1%	11.9%	53
5 そう思わない	17.7%	19.2%	24.5%	109
0 無回答	4.3%	1.4%	3.1%	14
全体	-	-	-	445



【考察】
 設問「問24(1)⑥」において、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」が減少傾向、「どちらともいえない」「そう思わない」が増加傾向を示している。特に「そう思う」はH25と比較し回答数が半数以下と、顕著な値となっている。女性の参画率の向上・父親の育児参加のための育児休暇取得の奨励など、人権課題のみならず、今後の男女共同参画分野における取り組みの指針とすべき傾向といえる。

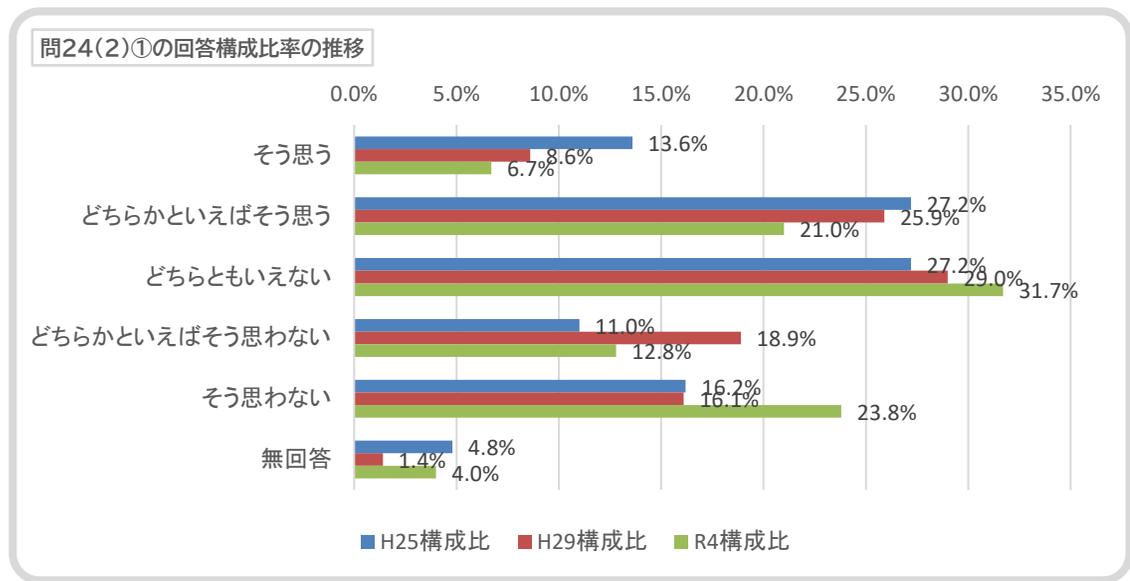
⑦シングルマザーは、なかなか正規の仕事に就きにくい現状にある

選択肢（単一回答）	H25構成比	H29構成比	R4構成比	R4回答数
1 そう思う	37.7%	38.6%	36.4%	162
2 どちらかといえばそう思う	29.1%	30.7%	33.9%	151
3 どちらともいえない	17.2%	18.7%	18.7%	83
4 どちらかといえばそう思わない	4.3%	4.3%	3.4%	15
5 そう思わない	7.2%	6.2%	4.9%	22
0 無回答	4.5%	1.4%	2.7%	12
全体	-	-	-	445

(2) 子どもの人権問題

①子どもは生活力がないのだから、親に従うのは当然である

選択肢（単一回答）	H25構成比	H29構成比	R4構成比	R4回答数
1 そう思う	13.6%	8.6%	6.7%	30
2 どちらかといえばそう思う	27.2%	25.9%	21.0%	93
3 どちらともいえない	27.2%	29.0%	31.7%	141
4 どちらかといえばそう思わない	11.0%	18.9%	12.8%	57
5 そう思わない	16.2%	16.1%	23.8%	106
0 無回答	4.8%	1.4%	4.0%	18
全体	-	-	-	445



【考察】
 設問「問24(2)①」においては、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」が減少傾向、「どちらともいえない」が増加傾向を示している。
 H25と比較すると、「そう思う」がおおむね半減、「そう思わない」がおおむね倍増するなど、子どもは親に従属すべきものといった概念からの変化が垣間見られる。

②親がしつけのために、子どもに体罰をすることはやむを得ない

選択肢（単一回答）	H25構成比	H29構成比	R4構成比	R4回答数
1 そう思う	5.7%	4.3%	1.1%	5
2 どちらかといえばそう思う	12.2%	13.7%	6.1%	27
3 どちらともいえない	22.4%	25.7%	16.2%	72
4 どちらかといえばそう思わない	16.0%	20.6%	17.8%	79
5 そう思わない	39.1%	34.3%	55.1%	245
0 無回答	4.5%	1.4%	3.8%	17
全体	-	-	-	445

③犯罪を犯した少年は、成人と同じように処遇すべきだ

選択肢（単一回答）	H25構成比	H29構成比	R4構成比	R4回答数
1 そう思う	22.4%	26.4%	16.6%	74
2 どちらかといえばそう思う	28.6%	28.3%	29.7%	132
3 どちらともいえない	26.0%	33.1%	31.2%	139
4 どちらかといえばそう思わない	9.1%	6.2%	8.8%	39
5 そう思わない	9.1%	4.3%	9.2%	41
0 無回答	4.8%	1.7%	4.5%	20
全体	-	-	-	445

④子どもへの虐待はゆるされない

選択肢（単一回答）	H25構成比	H29構成比	R4構成比	R4回答数
1 そう思う	46.5%	30.5%	81.6%	363
2 どちらかといえばそう思う	22.2%	24.0%	10.8%	48
3 どちらともいえない	18.4%	28.8%	1.8%	8
4 どちらかといえばそう思わない	4.3%	9.4%	1.1%	5
5 そう思わない	4.3%	6.0%	0.9%	4
0 無回答	4.3%	1.4%	3.8%	17
全体	-	-	-	445

⑤いじめはゆるされない

選択肢（単一回答）	H25構成比	H29構成比	R4構成比	R4回答数
1 そう思う	84.0%	80.8%	84.9%	378
2 どちらかといえばそう思う	8.6%	11.8%	7.6%	34
3 どちらともいえない	1.9%	3.1%	1.8%	8
4 どちらかといえばそう思わない	0.2%	0.7%	0.2%	1
5 そう思わない	1.0%	2.2%	1.3%	6
0 無回答	4.3%	1.4%	4.0%	18
全体	-	-	-	445

(3) 高齢者の人権問題

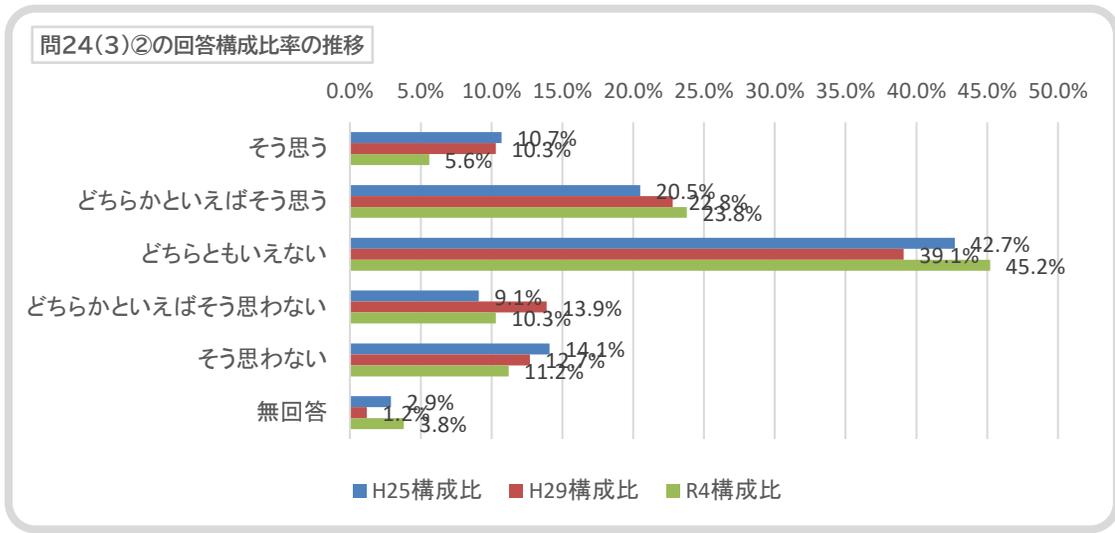
①高齢者は尊敬され、敬われなければならない

選択肢（単一回答）	H25構成比	H29構成比	R4構成比	R4回答数
1 そう思う	37.2%	28.1%	18.4%	82
2 どちらかといえばそう思う	31.0%	39.3%	32.1%	143
3 どちらともいえない	23.6%	26.1%	33.5%	149
4 どちらかといえばそう思わない	1.9%	2.4%	4.0%	18
5 そう思わない	3.1%	2.4%	7.4%	33
0 無回答	3.1%	1.7%	4.5%	20
全体	-	-	-	445



②年若い子どもに従う方がよい

選択肢（単一回答）	H25構成比	H29構成比	R4構成比	R4回答数
1 そう思う	10.7%	10.3%	5.6%	25
2 どちらかといえばそう思う	20.5%	22.8%	23.8%	106
3 どちらともいえない	42.7%	39.1%	45.2%	201
4 どちらかといえばそう思わない	9.1%	13.9%	10.3%	46
5 そう思わない	14.1%	12.7%	11.2%	50
0 無回答	2.9%	1.2%	3.8%	17
全体	-	-	-	445



【考察】
 設問「問24(3)②」においては、「そう思う」「そう思わない」が同時に減少傾向を示し、かつ「どちらかといえばそう思う」が増加傾向を示している。
 また、「どちらともいえない」が半数弱を占めているなど、高齢者と家族との関係性について、固定概念に囚われない考え方が浸透してきていると推測される。

③高齢者が孤独死する社会を作っているのは、私たち自身の問題である

選択肢（単一回答）	H25構成比	H29構成比	R4構成比	R4回答数
1 そう思う	33.9%	24.2%	19.8%	88
2 どちらかといえばそう思う	29.8%	27.1%	26.5%	118
3 どちらともいえない	23.6%	31.9%	33.5%	149
4 どちらかといえばそう思わない	4.8%	8.3%	8.5%	38
5 そう思わない	4.3%	6.5%	7.0%	31
0 無回答	3.6%	1.9%	4.7%	21
全体	-	-	-	445

④高齢者がいつまでも元気で働くことは、若い人の職を奪うことになる

選択肢（単一回答）	H25構成比	H29構成比	R4構成比	R4回答数
1 そう思う	5.7%	5.8%	1.6%	7
2 どちらかといえばそう思う	8.6%	7.9%	6.5%	29
3 どちらともいえない	32.5%	29.3%	24.5%	109
4 どちらかといえばそう思わない	18.9%	25.2%	24.4%	109
5 そう思わない	31.5%	30.9%	38.9%	173
0 無回答	2.9%	1.0%	4.0%	18
全体	-	-	-	445

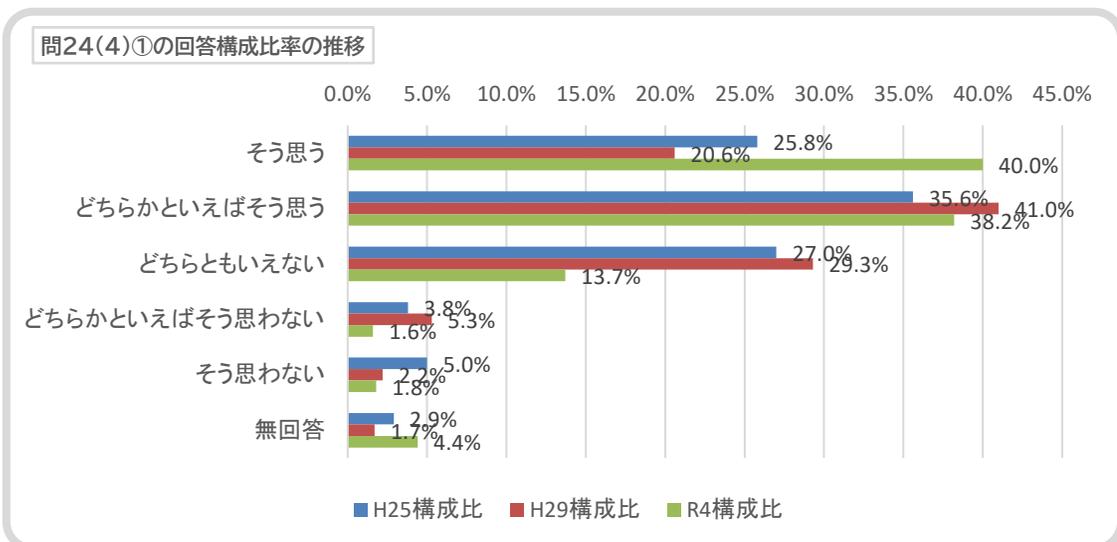
⑤一定年齢の高齢者に年金や医療などの無料給付を行うのは当然である

選択肢（単一回答）	H25構成比	H29構成比	R4構成比	R4回答数
1 そう思う	24.6%	22.3%	20.0%	89
2 どちらかといえばそう思う	23.2%	34.3%	27.6%	123
3 どちらともいえない	29.1%	27.6%	34.2%	152
4 どちらかといえばそう思わない	10.0%	8.4%	7.9%	35
5 そう思わない	10.3%	6.0%	5.8%	26
0 無回答	2.9%	1.4%	4.5%	20
全体	-	-	-	445

(4) 障がい者の人権問題

①障がい者が利用しやすくなるように、すべての公共の建物をバリアフリー化すべきだ

選択肢（単一回答）	H25構成比	H29構成比	R4構成比	R4回答数
1 そう思う	25.8%	20.6%	40.0%	179
2 どちらかといえばそう思う	35.6%	41.0%	38.2%	170
3 どちらともいえない	27.0%	29.3%	13.7%	61
4 どちらかといえばそう思わない	3.8%	5.3%	1.6%	7
5 そう思わない	5.0%	2.2%	1.8%	8
0 無回答	2.9%	1.7%	4.4%	20
全体	-	-	-	445



[考察]

設問「問24(4)①」において、「そう思わない」が減少傾向を示している。特筆すべき点として、「そう思う」の回答数がH29と比較して倍増していること、「そう思わない」の回答数がH25と比較して半減していることが挙げられる。障がい者が公共施設を利用するうえでの利便性の改善が求められていることが現れており、障がい者とそうでない者が共存し、お互いを理解するためにも必要であると推測される。

②障がい者を雇用する義務を果たしていない会社には、厳しい罰則を与えるべきだ

選択肢（単一回答）	H25構成比	H29構成比	R4構成比	R4回答数
1 そう思う	8.3%	7.2%	10.1%	45
2 どちらかといえばそう思う	16.5%	15.3%	19.8%	88
3 どちらともいえない	46.8%	52.3%	44.9%	200
4 どちらかといえばそう思わない	12.6%	12.9%	13.3%	59
5 そう思わない	12.4%	10.6%	7.2%	32
0 無回答	3.3%	1.7%	4.7%	21
全体	-	-	-	445



③障がい者と結婚するには、まだまだ様々な問題がある

選択肢（単一回答）	H25構成比	H29構成比	R4構成比	R4回答数
1 そう思う	37.0%	33.1%	29.7%	132
2 どちらかといえばそう思う	37.2%	37.2%	41.6%	185
3 どちらともいえない	15.8%	24.2%	17.8%	79
4 どちらかといえばそう思わない	3.6%	1.7%	4.3%	19
5 そう思わない	2.4%	2.2%	2.2%	10
0 無回答	4.1%	1.7%	4.5%	20
全体	-	-	-	445



④障がい者が暮らしやすい社会こそ健常者も暮らしやすい

選択肢（単一回答）	H25構成比	H29構成比	R4構成比	R4回答数
1 そう思う	45.3%	42.9%	45.2%	201
2 どちらかといえばそう思う	31.0%	32.1%	31.9%	142
3 どちらともいえない	16.5%	18.9%	15.5%	69
4 どちらかといえばそう思わない	1.9%	2.2%	2.0%	9
5 そう思わない	2.1%	2.4%	1.3%	6
0 無回答	3.1%	1.4%	4.0%	18
全体	-	-	-	445

⑤自分が住んでいる近くに新しく障がい者の施設ができることには反対だ

選択肢（単一回答）	H25構成比	H29構成比	R4構成比	R4回答数
1 そう思う	1.4%	0.7%	0.4%	2
2 どちらかといえばそう思う	2.6%	2.9%	1.8%	8
3 どちらともいえない	15.8%	21.8%	20.0%	89
4 どちらかといえばそう思わない	19.8%	22.1%	21.3%	95
5 そう思わない	57.3%	50.6%	51.7%	230
0 無回答	3.1%	1.9%	4.7%	21
全体	-	-	-	445



⑥障がい者には周囲の人が配慮すべきだ

選択肢（単一回答）	H25構成比	H29構成比	R4構成比	R4回答数
1 そう思う			33.0%	147
2 どちらかといえばそう思う			38.7%	172
3 どちらともいえない			16.0%	71
4 どちらかといえばそう思わない			4.5%	20
5 そう思わない			3.6%	16
0 無回答			4.3%	19
全体			-	445

(5) 外国人の人権問題

①外国人は、もっと日本の文化にとけ込む努力をするべきだ

選択肢（単一回答）	H25構成比	H29構成比	R4構成比	R4回答数
1 そう思う	16.2%	17.3%	6.3%	28
2 どちらかといえばそう思う	32.0%	26.6%	21.3%	95
3 どちらともいえない	33.9%	38.6%	47.0%	209
4 どちらかといえばそう思わない	7.2%	7.9%	11.0%	49
5 そう思わない	6.7%	8.4%	9.9%	44
0 無回答	4.1%	1.2%	4.5%	20
全体	-	-	-	445



②外国人は、仕事をする上で、待遇が悪くても仕方がない

選択肢（単一回答）	H25構成比	H29構成比	R4構成比	R4回答数
1 そう思う	1.4%	1.7%	2.0%	9
2 どちらかといえばそう思う	4.8%	4.3%	1.1%	5
3 どちらともいえない	27.4%	26.1%	16.9%	75
4 どちらかといえばそう思わない	24.3%	28.8%	31.9%	142
5 そう思わない	37.9%	36.9%	43.4%	193
0 無回答	4.1%	2.2%	4.7%	21
全体	-	-	-	445



③外国人が日本で働くことは、日本人の職を奪うことになり賛成できない

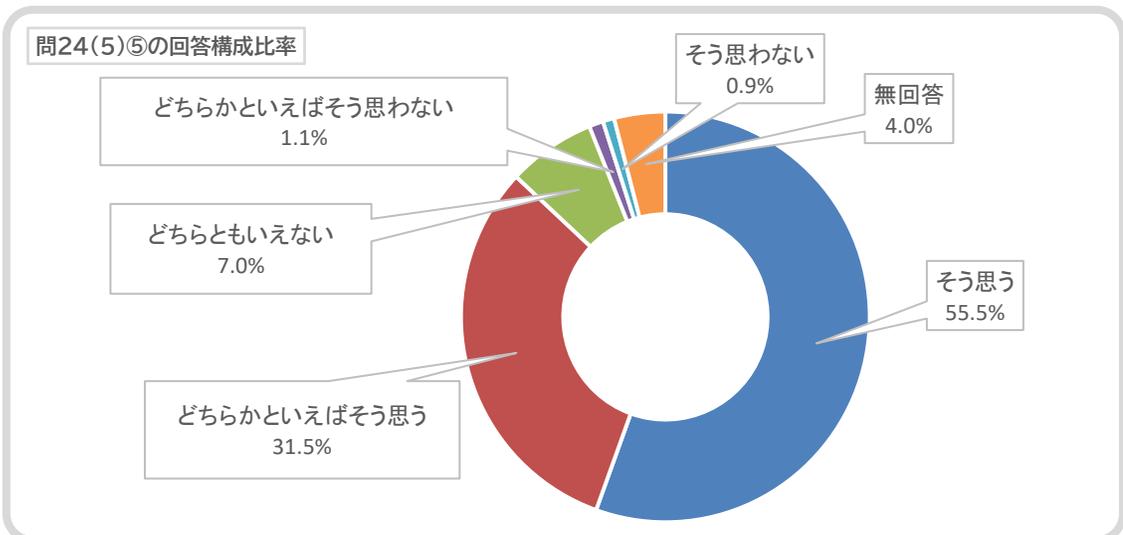
選択肢（単一回答）	H25構成比	H29構成比	R4構成比	R4回答数
1 そう思う	3.1%	1.7%	0.9%	4
2 どちらかといえばそう思う	6.0%	6.7%	1.8%	8
3 どちらともいえない	31.5%	30.7%	21.6%	96
4 どちらかといえばそう思わない	20.0%	24.0%	26.1%	116
5 そう思わない	35.6%	34.8%	44.9%	200
0 無回答	3.8%	2.2%	4.7%	21
全体	-	-	-	445

④外国人にアパートを貸さない家主がいることは残念なことだ

選択肢（単一回答）	H25構成比	H29構成比	R4構成比	R4回答数
1 そう思う	31.7%	28.5%	32.1%	143
2 どちらかといえばそう思う	25.3%	29.3%	34.2%	152
3 どちらともいえない	29.8%	32.4%	23.8%	106
4 どちらかといえばそう思わない	5.0%	4.3%	2.2%	10
5 そう思わない	3.8%	3.4%	3.4%	15
0 無回答	4.3%	2.2%	4.3%	19
全体	-	-	-	445

⑤外国人も、日本人と同じように人権を守られるべきだ

選択肢（単一回答）	H25構成比	H29構成比	R4構成比	R4回答数
1 そう思う			55.5%	247
2 どちらかといえばそう思う			31.5%	140
3 どちらともいえない			7.0%	31
4 どちらかといえばそう思わない			1.1%	5
5 そう思わない			0.9%	4
0 無回答			4.0%	18
全体			-	445



[考察]

設問「問24(5)⑤」は新設の設問で、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の回答数が全体の87%を占める結果となった。

人権は、人種の如何を問わずに守られるべきものとの意識が定着していることが窺える。

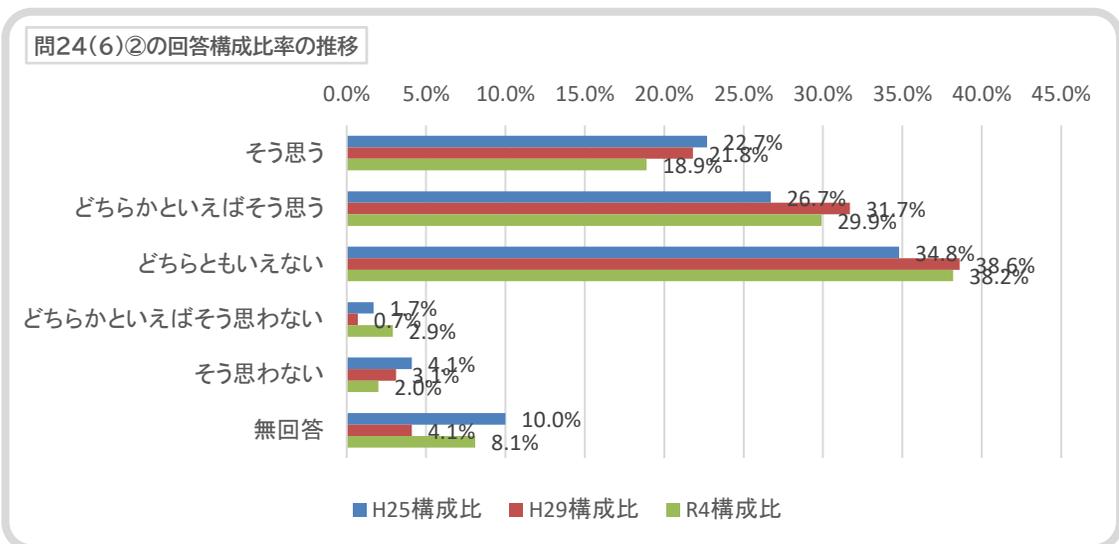
(6) HIV感染者・ハンセン病患者・元患者の人権問題

①友人がHIVに感染していることがわかって、これまでと同じように付き合っていける

選択肢（単一回答）	H25構成比	H29構成比	R4構成比	R4回答数
1 そう思う	26.5%	27.6%	29.2%	130
2 どちらかといえばそう思う	27.9%	27.3%	29.0%	129
3 どちらともいえない	31.7%	35.7%	30.8%	137
4 どちらかといえばそう思わない	3.8%	5.2%	3.8%	17
5 そう思わない	2.9%	1.4%	1.8%	8
0 無回答	7.2%	2.6%	5.4%	24
全体	-	-	-	445

②ハンセン病回復者が社会復帰できない現状がある

選択肢（単一回答）	H25構成比	H29構成比	R4構成比	R4回答数
1 そう思う	22.7%	21.8%	18.9%	84
2 どちらかといえばそう思う	26.7%	31.7%	29.9%	133
3 どちらともいえない	34.8%	38.6%	38.2%	170
4 どちらかといえばそう思わない	1.7%	0.7%	2.9%	13
5 そう思わない	4.1%	3.1%	2.0%	9
0 無回答	10.0%	4.1%	8.1%	36
全体	-	-	-	445



[考察]

設問「問24(6)②」において、「そう思う」「そう思わない」が減少傾向を示した。ハンセン病についての知識と意識が、経年とともに薄れつつあることが危惧される。

③求められれば、カルテの情報は患者本人に開示されるべきだ

選択肢（単一回答）	H25構成比	H29構成比	R4構成比	R4回答数
1 そう思う	51.1%	53.0%	39.3%	175
2 どちらかといえばそう思う	20.0%	28.1%	32.8%	146
3 どちらともいえない	17.9%	14.9%	17.5%	78
4 どちらかといえばそう思わない	0.5%	0.5%	1.8%	8
5 そう思わない	2.4%	0.5%	2.7%	12
0 無回答	8.1%	3.1%	5.9%	26
全体	-	-	-	445



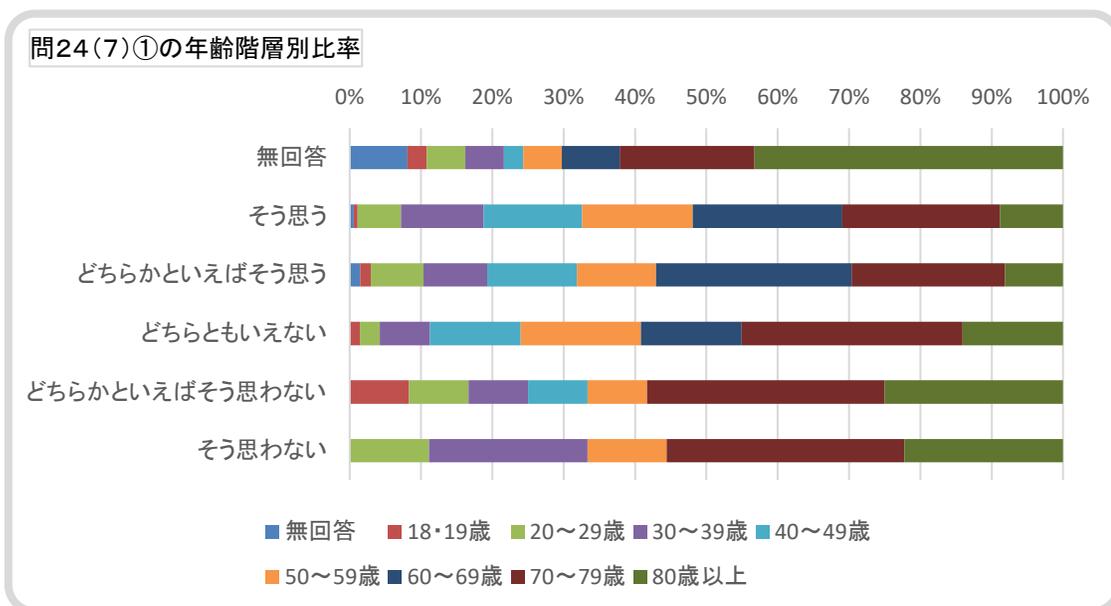
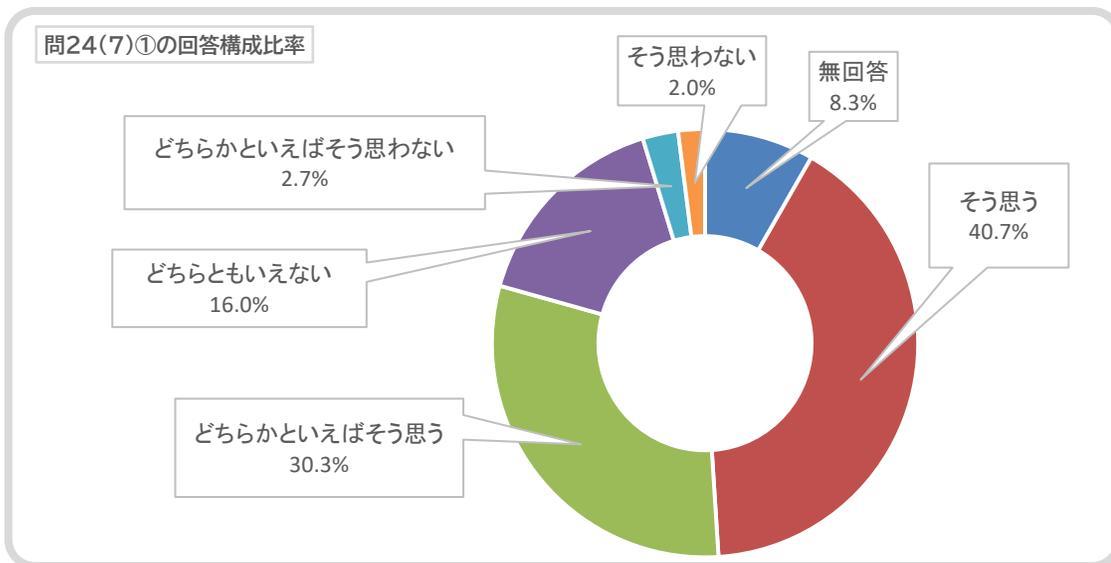
④HIV感染者が就職などで不利な扱いを受ける現状がある

選択肢（単一回答）	H25構成比	H29構成比	R4構成比	R4回答数
1 そう思う			16.9%	75
2 どちらかといえばそう思う			24.3%	108
3 どちらともいえない			45.2%	201
4 どちらかといえばそう思わない			4.0%	18
5 そう思わない			1.8%	8
0 無回答			7.9%	35
全体			-	445

(7) インターネットでの人権問題

①他人を誹謗・中傷したり差別を助長するような情報を掲載している

選択肢（単一回答）	H25構成比	H29構成比	R4構成比	R4回答数
1 そう思う			40.7%	181
2 どちらかといえばそう思う			30.3%	135
3 どちらともいえない			16.0%	71
4 どちらかといえばそう思わない			2.7%	12
5 そう思わない			2.0%	9
0 無回答			8.3%	37
全体			-	445



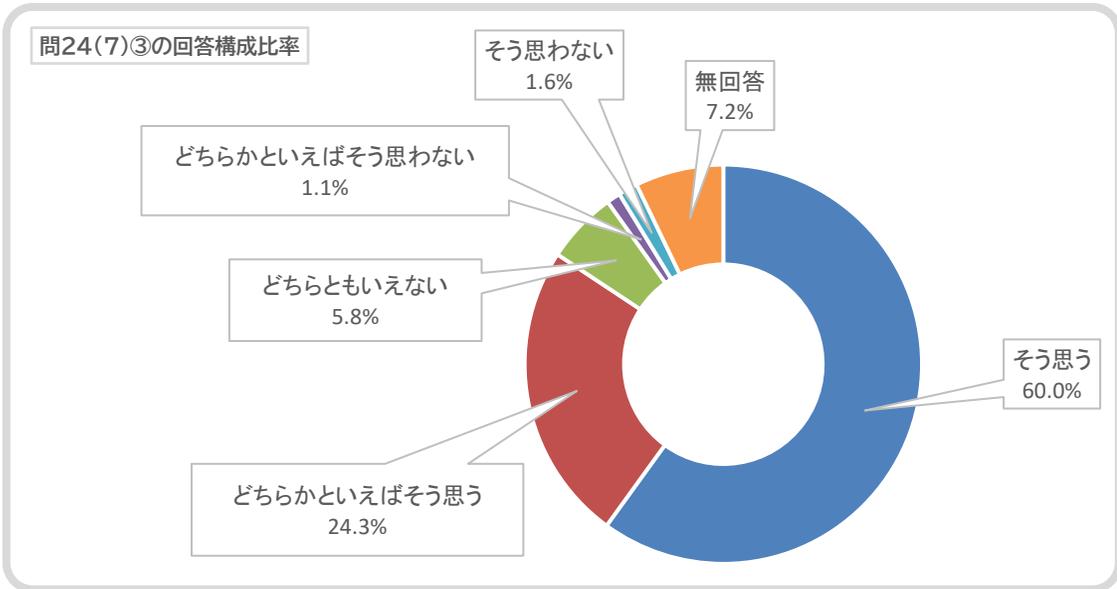
[考察]
 設問「問24(7)①」は新設の設問。
 「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を選択した回答が70%を超え、年齢階層別にみてもそれぞれの年代で一定の回答者数となっている。
 インターネットが発信されている情報の信頼性・信ぴょう性などを適切に判断できるよう、インターネット・リテラシーに関して啓発を行う必要があるといえる。

②出会い系サイトなど犯罪を誘発する場所になっている

選択肢 (単一回答)	H25構成比	H29構成比	R4構成比	R4回答数
1 そう思う			38.0%	169
2 どちらかといえばそう思う			35.5%	158
3 どちらともいえない			15.1%	67
4 どちらかといえばそう思わない			2.2%	10
5 そう思わない			1.6%	7
0 無回答			7.6%	34
全体			-	445

③個人名などのプライバシーに関する情報の流出が心配だ

選択肢（単一回答）	H25構成比	H29構成比	R4構成比	R4回答数
1 そう思う			60.0%	267
2 どちらかといえばそう思う			24.3%	108
3 どちらともいえない			5.8%	26
4 どちらかといえばそう思わない			1.1%	5
5 そう思わない			1.6%	7
0 無回答			7.2%	32
全体			-	445



【考察】

設問「問24(7)③」は新設の設問である。

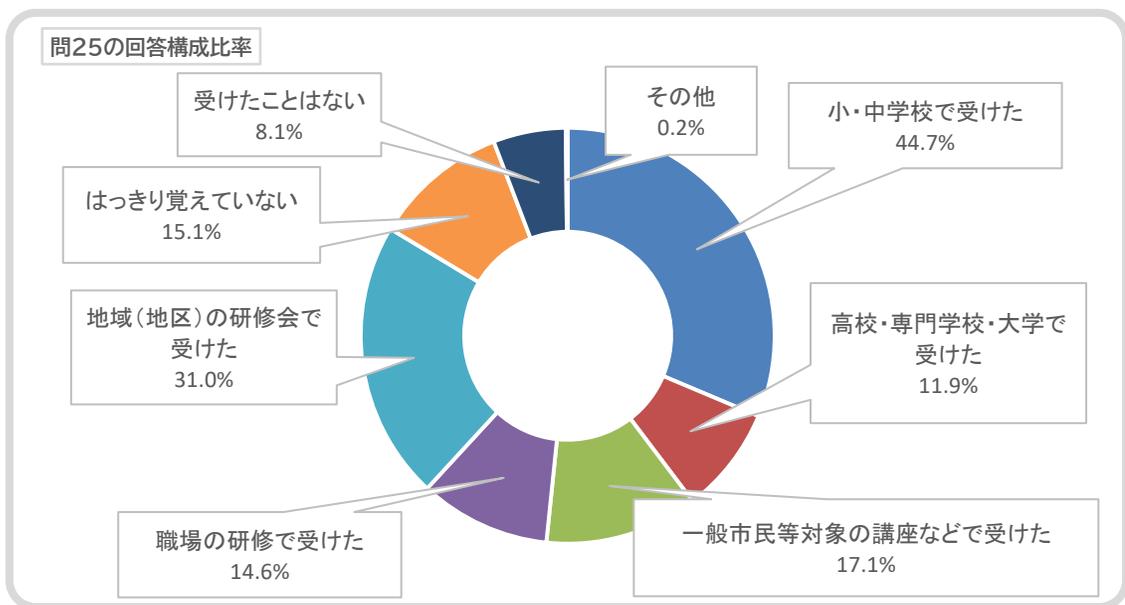
特筆すべきは回答構成比率で、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の回答数が全体の84.3%を占め、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」の回答数が全体のわずか2.7%と、インターネットにおけるプライバシーの保護についての不安感が強く表れている。

■人権問題の教育や啓発についておたずねします

問25 あなたは、人権問題についての学習・講演会への参加や、研修を受けたことがありますか。
(〇はいくつでも)

選択肢（複数回答）	H25構成比	H29構成比	R4構成比	R4回答数
1 小・中学校で受けた 【 → 問25付問へ 】			44.7%	199
2 高校・専門学校・大学で受けた 【 → 問25付問へ 】			11.9%	53
3 一般市民等対象の講座などで受けた 【 → 問25付問へ 】			17.1%	76
4 職場の研修で受けた 【 → 問25付問へ 】			14.6%	65
5 地域(地区)の研修会で受けた 【 → 問25付問へ 】			31.0%	138
6 はっきり覚えていない			15.1%	67
7 受けたことはない			8.1%	36
8 その他			0.2%	1

「8 その他」（1件）の自由記述
・未記入（1件）



【考察】

設問「問25」は新設の設問で、人権問題の教育・研修等の経歴について問うものであるが、問25有効回答数全体に対して83.6%が何らかの教育・研修を受けている結果となった。

特に「小・中学校で受けた」の回答数が44.7%、「地域（地区）の研修会で受けた」の回答数が全体の31.0%と高い割合を示し、義務教育期間での教育、地区研修会での研修の重要性を示すものとなっていることから、今後の施策でも重要な役割を持つものであることが確認された。

問25付問 それほどの分野の人権問題についての内容でしたか。(〇はいくつでも)

選択肢(複数回答)	H25構成比	H29構成比	R4構成比	R4回答数
1 同和問題			50.7%	269
2 障がい者の人権問題			19.6%	104
3 子どもの人権問題			13.6%	72
4 女性の人権問題			15.1%	80
5 高齢者の人権問題			8.7%	46
6 外国人の人権問題			4.5%	24
7 その他			1.1%	6

「7 その他」(6件)の自由記述

- ・いじめ。
- ・インターネットでの人権問題。
- ・新型コロナに関して。
- ・地区の同和・人権・施設見学等。
- ・部落差別。
- ・忘れた。全般だと思う。

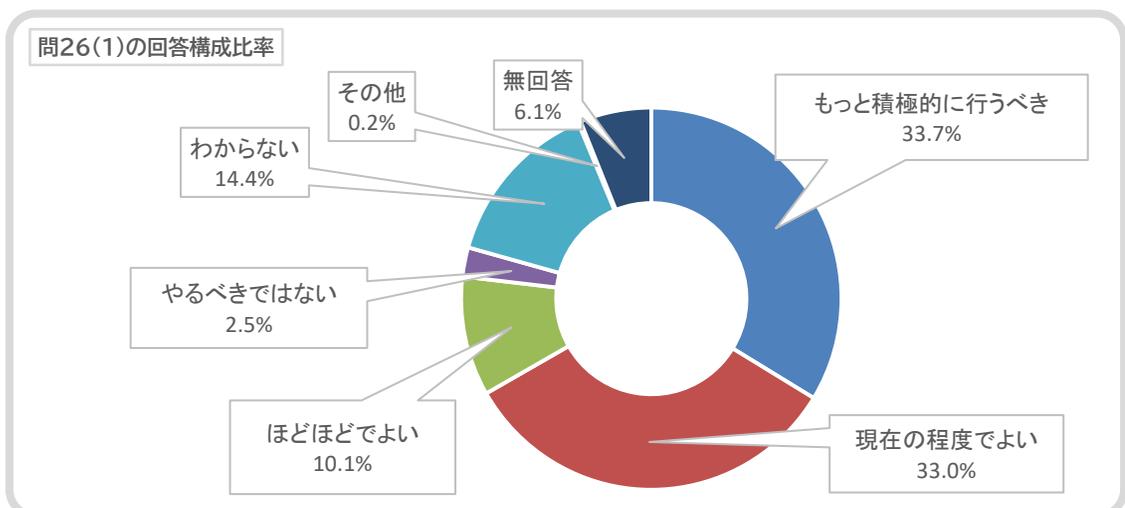
問26 人権問題の教育や啓発について、あなたはどのように思いますか。(1)及び(2)にお答えください。

(1) 今後の啓発方法について(1つに〇)

選択肢(単一回答)	H25構成比	H29構成比	R4構成比	R4回答数
1 もっと積極的に行うべき			33.7%	150
2 現在の程度でよい			33.0%	147
3 ほどほどでよい			10.1%	45
4 やるべきではない			2.5%	11
5 わからない			14.4%	64
6 その他			0.2%	1
0 無回答			6.1%	27
全体			-	445

「6 その他」(1件)の自由記述

- ・内容による。



[考察]

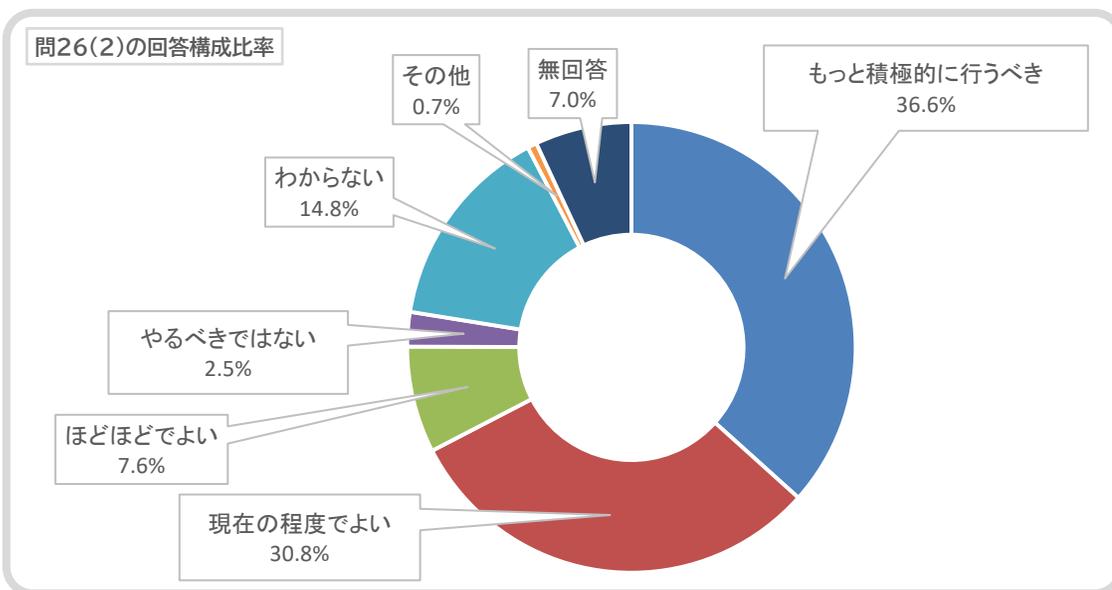
設問「問26(1)」は新設の設問である。
 今後の啓発について「もっと積極的に行うべき」の回答数の割合が33.7%と最も高く、「現在の程度でよい」の回答数の割合を上回る結果を示した。
 今後の啓発活動の策定において、啓発内容や機会のより一層の充実を図り、市民意識の向上に努めることが求められている。

(2) 学校での人権教育について

選択肢 (単一回答)	H25構成比	H29構成比	R4構成比	R4回答数
1 もっと積極的に行うべき			36.6%	163
2 現在の程度でよい			30.8%	137
3 ほどほどでよい			7.6%	34
4 やるべきではない			2.5%	11
5 わからない			14.8%	66
6 その他			0.7%	3
0 無回答			7.0%	31
全体			-	445

「6 その他」(3件)の自由記述

- ・ 同和差別は公にしない限りは小中学生はわからないと思う。そうやって公にする事で、差別が助長されるのではないか。
- ・ 内容による。
- ・ 未記入(1件)



[考察]

設問「問26(2)」も新設の設問である。
 設問「問26(1)」と同様に、今後の学校での人権教育について「もっと積極的に行うべき」の回答数の割合が36.6%と最も高く、「現在の程度でよい」の回答数の割合を上回る結果を示した。
 今後の学校での人権教育を計画する上で、いかにして教育を向上させるかが課題となることが見込まれる。

問27 次の(1)及び(2)は、自由に記述回答してください。

(1) あなた自身や家族など身近な方で、今まで人権侵害や差別を受けた経験がありましたら記述ください。

自由記述(78件)

- ・電気工事の仕事をしていたとき同僚に、女は結婚して仕事を辞めるから教えても無駄だ、と言われて、しばらく業務を教えてもらえず、違う上司に教えてもらっていた。
- ・夫 正社員、私 パートという立場で子供の体調不良時に夫が会社に休みを申し出た際、上司が他の社員に『普通そういうのは女が休むだろう』と発言したと聞いた。社員とパートという社会的立場について、男と女という二つについて差別されてるなど感じた。
- ・自分や家族に視覚障害があり、差別を受けた経験がある。
- ・特に70才代以降の者は、食事の用意(家事)は女性がやるべきという思いが普通であるが、平等に男女共に協力して平等に行っていく意識が必要である。若い人たちが変わっていくことを期待したい。
- ・親からは差別はよくないと言われていたので、接することに抵抗はありませんでした。子供達も全く平気でした。娘の結婚にも私は反対しませんでした。こんな社会になると良い。
- ・他地域から引越して来て、先住の隣人に気に入られないと、その地域全員から気に入られなくなる。
- ・私の家族が区の役員をしていた年に、会合のあとの懇親会で、80才台の男性から家内に「ワシとワンワンニャンニャンしない?」との発言があった。後日、家内からこの話を聞き、この会合の主催者である、区長、代理区長に私が「本人がどういうつもりで、この発言をしたのか。確認したい」と。この1件があってから1カ月後、区長、80才台の男性と私ら夫婦の3組で、謝罪の場、弁明の場をもちました。家内は当初、発言の意味がわからなかったが、私と話しているうちに先方が自分に対して性の対象、人権侵害として含んだ言葉だったことに怒り、あちらこちらの方に相談にのってもらいました。その弁明の場、謝罪の場では、80才台の男性は長い文面を読み、家内のなくなった父との話など、主旨とは全く関係のない事柄をのべまくり、最後の方にきて、ワシが言ったことで、不快の思いをさせてしまい申し訳なかったと謝罪。私がどうしてあのような発言になったのかと、ただしても、80才台男性は、「それがわからん。」の一点張り。その後、家内は、80才台男性と会合で会うこと数回あったが、口きくことはなかった。この年の市会議員選挙に現職議員だったこの80才台の男性は、立候補をとりやめた。
- ・昔家がまずしく親を手伝ったり近所の仕事を手伝った。新聞配達等したが学校におくれて友達からいろいろいわれたが先生の対応がナシ。そのため学校へいくのがはずかしくいやだった。
- ・私事、家には知的障害の子供がおりまして、いろいろな差別を受けましたが、絶対に、なくしてほしいと思います。そして、住み良い社会にしてほしいですね。
- ・父の障害を心配し、結婚を反対されたことがある。表向きは、「おまえは信用できない」でしたが。

- ・嫁という事で地域の集まりで意見を言えないような時がありました。また女性は意見を言えないです。
- ・発達障がい者の差別が多いと思います。
- ・家業が倒産した時、親戚から縁を切られた。
- ・仕事場がやはり男性の方が優遇されている（女性は低賃金）
- ・上に立つ人間は失敗しても何もしないのに、他の人が失敗すると色々と言ってくる。上の人は仕事を全然していないのに給料高い。お気に入りの言うことは聞くのに他の興味のない人からこういうことがあったと報告しても動かない。それで？というような雰囲気。
- ・特に人権侵害や差別を受けたわけではありませんが、嫁に来た当時（昭和の終わり頃）、義父義母と同居で、家事はほとんど嫁の仕事でした。育児も加わり、畑仕事と毎日大変忙しくしていた思いがあります。家政婦さんをたのめば賃金を払わなければならないし、あの時代は気軽にたのめる事はなかったので、嫁はただ働きで割に合わないなど思っていたくらいで、それが普通でしたが、今は、本人もまわりの人もあの頃とは考え方が少しはかわってきたように思います。
- ・常会の中の人に家のぐるわに立てカンバンを立てられ、いやがれせをされた。
- ・元市議員から嫌がらせ、脅迫などがあり、警察が相手にしないように、困ったことがあったら相談に乗るように、と言われております。又、中傷、誹謗のビラ(怪文書)を平然と周りに配り、関係者からトラブルメーカーとして注視しています。今でも何を言いたいのか、呼びかけられ、その場を離れ逃げても執拗に追いかけてきます。その男の後妻に「後家天井ナシ」と言われ、意味を聞いても返答がありません。以上、一例を記述しました。
- ・子どもが、小中高校生の時、いじめがあった。子どもがそのことを詳しく話すことはなかった。解決するために行動したこともなかった。そのことが、子供の人生に大きく影響しています。
- ・職場にて、職員へのハラスメント。行っているのは、市役所からの雨下り職員。
- ・道路をふさがれて通行出来なくされた。裁判で決着した。
- ・知人が結婚しようとした方が部落出身との事で、知人の祖父の反対が強く、結婚ができなかった。
- ・父親が大阪で同和といわれる地区で生まれましたが、地位親は小さい頃差別をうけたようですが、私はよく知らず、母親からおとうさんがこういうことあったという話をきかされました。
- ・差別を受けた訳ではありませんが、名字により、誤解をされたりし、家系図を見せてもらった事もある。
- ・親戚の結婚で父同和地区と母非同和からの結婚、子どもが3人小学校の道徳の話して先生から「この地域とこの地域は部落民です。名前も〇〇さんと〇〇さんは部落です」と言われ、はじめて知った子どもがショックを受け、登校拒否になったそうです。名前を母方にして、学校を地元からはなれて通学していました。学校の先生の配慮のなさにおどろきました。もっと先生方の学習だけでなく、1人1人の子供たちを思いやって話して行ってもらいたいです。

- ・小学校の時に、担任の先生にお願いしたが、聞き入れてもらえず、男子の前で下着になるように言われ、体重測定をさせられた。
- ・同和問題ほどほどに。
- ・上司が無視する(あいさつしても顔すら見ない、あいさつもなし)。パワハラがすぎる!固定給ではないので、上司の好き嫌いで個人の収入が変わる(給与の事)。あ…イジメか…
- ・母親の妹が部落の人と結婚してます。私は県外に住んでたので、小さい時は「部落」という言葉だけ聞いてただけで、正直、最近まで内容まで知りませんでした。しかし、親戚はいろいろ苦労があったと聞き、心が苦しかったです。
- ・1歳の子供を保育園に預けて働くことを話したら、小さい内から保育園に預けるのはかわいそうだと言われた。働く女性に対する差別だと感じた。
- ・新卒で小売の仕事に就職したら、バイトでもできる仕事に就いて、と。また、周りには求職中ということにされた。仕事に対する差別だと思う。
- ・75才の高齢者です。私自身は差別を受けた事はありませんが、私達の若い頃は、部落差別がけっこうあって、友人が結婚を反対される等、いろいろありました。
- ・母は、日本人ですが生まれが満州で、あなたの親の発音がおかしいと言われたことがあった。
- ・小学校の時、あの人は、朝鮮人だから遊ばないようにと、言われたことがあった。
- ・上司によるパワハラ、モラハラ、セクハラ、ストーカーを受けたが、上司ということで、強く出れず、けっきょく職場を失う事になった。市は、元公務員だからと、身内をかばって、何もしてくれなかった。今だに傷ついて、人間不信になっている。当の本人は天下りで、平然と仕事をしている。結局市は、何もしない!
- ・私が父がいなかった為、学校や結婚で差別を受けた(ように感じた)。
- ・私自身が結婚する時、本家へ親が報告したところ、伯父が血相をかえて我家へ。相手先の身元を調べたのかと、私も両親も呆然。伯父は言いたいことだけ言って帰った後、3人で何んだ今のはで終わり。式の時は、いつもの伯父の笑顔で出席してくれ、又3人で伯父さんが調べて結果良くなったのかで終わり。
- ・問の中で、いくつか答ができなかったのは、差別その地区のこと、被害者に接触する経験もなく?上記の様な両親で本当に良かったなと思います。
- ・自分の父が「こう云うと女性差別と云われてしまうが…」と前置きを付けながら、「こうこうこういう場合は女性が多い。」と日常の会話で出てくるのを思うと、まだまだ偏見や差別は根深くあるものだと思う。
- ・妻の旧姓が同和の人と同じで差別をうけた。
- ・学校でいじめに合い、ウツになり中退したことがある。

- ・過去になりますが、子供が小学校の頃、同級生からいじめを受けた事実有り。
- ・シングルマザーでの正規社員での就職はかなりむずかしい。子供が具合が悪くても休めない職場だが、就職がむずかしく転職できない。
- ・職場で、人権侵害を受けている。（名前こそ言わないが、聞こえるようにいやみを言われている）→死ねなど言われている。
- ・僕は前に使っていたショートステイの施設で、スタッフの人から「お前は何も言わず、こっこの言った事だけに従えばいいんだ」と言われた事があり、すごく悔しい思いをして、お母さんに相談して市役所の人にも相談して、施設の人に謝ってもらった事がありました。謝ってもらっても気持ちは晴れないし、僕だって好きで障がいを持っているわけじゃないし、助けてもらわないと生きていけないので、障がいを持っている人がいれる場所にそういう事を言う人がいないか心配になる。
- ・身長が低いせいでばかにされる。見た目だけで判断する。夫が亡くなっている為、女性高齢者だけだとみくだされる。
- ・わからない!
- ・なし（36件）

(2) 人権が尊重され、差別のない明るい千曲市を実現するために、ご意見や要望等がありましたら記述ください。

自由記述（81件）

- ・私は、今年の6月に戸籍を移したばかりです。なので千曲市がそういった体勢であることについてはほとんど知りませんでした。幸いにも今回のアンケートの1000人に選ばれたことで知りました。なので、今回の内容についてはもっと周知されるべきなのではないかと思いました。会社や学校でもっと講演会を行うべきなのではないかと思いました。
- ・障害のあるこどもたちのこともっと知ってもらう機会を作って欲しい。
- ・産休育休を取っても女性が役員に上がれるチャンスを増やせるように企業に働きかけてほしいです。また、障がい者の方々の可能性を広げるために雇用の枠を増やしたり、どこにでもいる環境づくりをすれば、それが普通になり、理解が深まっていくことにつながると思います。
- ・最近妊娠を機に仕事や育児について考えるようになりました。妊娠前から上司には、女性は子供を産んだりするから残業もできないし、早退も増える、求人も女性はそんなに必要なかった、女性はこの会社じゃ上に上がれない、と言われ女性への偏見の根深さや昇格のしにくさを感じました。共働きが普通のご時世、給与も上がらないまま子育てしていくとなると生活もいっぱいっばいですし、仕事に対する楽しみがありません。育児も仕事もやる気に満ちる街になってほしいと思います。
- ・相談したいときにできる窓口があるとよい。
- ・体験として、子供の教育過程で知識として入れるのは重要と思う。そのため若い世代は寛容だ。ただ、大人の考えは変わらない。啓発してあまり煽る無かれと思う。力を入れるべきは子供の教育で、理解ある子供達を育て、新陳代謝を待つべき。
- ・人権侵害や差別は人が作り出すものなので日々改善が必要です。終わりのない課題だと思えますのであきらめずに進めていきましょう。
- ・人権を侵害され困っている人が気軽に問い合わせのできる窓口、専門の担当者を増やして問題解決がスムーズになると良いと思います。
- ・千曲市は我が家を含め、周囲にも子育て世帯の転入が多いと感じる。そのほとんどが共働きで、千曲市のゴミ当番に立ち会うルールが正直辛いと感じつつ参加している。今までの経緯があってそうなっているとは理解しているし、参加するようにしているが、仕事によって不参加となった世帯への心無い言葉を以前からの住人が口にしてのを目撃した事がある。祭事関係についてもこの地区の伝統として参加しているが、もし仕事で参加出来なかった日には何を言われるか…と不安がある。千曲市の良さを受け継ぎつつも、共働き世帯への配慮を長く住んでいる住人の方にも理解してほしいし、市町村に対してはそもそもゴミ当番については他市町村のように立ち会わない方法を導入してほしい。（以前より議論されている様子ですが…）
- ・まず大人が差別的な発言をやめ、次の世代へは差別的な発言、意見、価値観を引き継がない、という意識が必要だと思います。
- ・子どもの権利条例の制定が必要だと思います。
- ・言ってもなにも改善されるわけがない。

- ・千曲市役所の人の中である人にいやなかおされた。
- ・同和については、広報する必要なし。知ってどうするのかな？
- ・同和地区の70才代以上の人たち(一部の人)は被害者意識が強く、常識では考えられない頑な所が感じられる。近所であることで問題があったが、気持良くできなかつた。言わないが、がまんして通り過ごしていることが、多々ある。偏見しているわけではないが、そのように見られてもしょうがないと思われることがあった。
- ・傲慢な年寄が多い。モラルの低い年寄が多い。
- ・公民館等で人権や同和に関する講演会を開いて欲しい。
- ・全ての教育現場、全ての職場で常に人権尊重を意識した行動が必要な事を理解させる。
- ・子育て支援(子ども手当の増額等)を活性化し、若い人が定住できるような市になってほしい。(移住者も増加)
- ・千曲市の一部は、高齢者が多くいて、高齢者の意見を尊重し、高齢者が住みやすい町になっている。そこに若者をUターンで戻って来てほしいor若者にも訪れてほしいと話をよくきく。だが、新しい店や、若者が好きそうな店をひらけば昔から住んでいる高齢者から苦情が届き退去を命じられる。古き良街並を残したいなど、外観が崩れるなどといった意見があるらしい。であれば色を外観と合せたり、ただの古き良き家が空き家になり、ノラネコの住処になっているようであれば、外観はそのままに古民家を利用とした店をひらけばいいと思った。ただ外観を残して若者にもどって来てほしいというだけで動こうとしないそうゆうお店をひらこうとしている人に支援とサポートをお願いしたい。昔栄えていた宿場町の姿をとりもどしてほしい。古き良き町並と今時が合わさった、高齢者と若者がキラキラ輝く町作りをお願いします。
- ・小学校の授業で人権問題を取り上げてほしい。
- ・身体の不自由な方や、お年寄で車に乗れない方の為に、小型バス等の増便をして下さい。
- ・職業、結婚家から等、今だにこだわる人もいる。大人が差別の心があるかぎり、子供達の教育をするだけではあまり効果がない。大人達も子供といっしょに勉強するキカイをつくる。
- ・人権に関する事例が発生した場合はかくさずに許されるハンイで公表する。
- ・教育委員会の予算を増額し、社会教育、学校教育ともに、充実させたい。
- ・発達障がい者の理解をもっとやってほしいです。勉強会もやってほしいです。
- ・近くでは差別のうわさ等聞いた事がほとんどない。たまたま私の所へは伝わらなかったのかも知らないが、今の人達は余り人のうわさや差別をしないとと思う。皆、今は忙しい時代のせいもあると思うけど、学校教育や千曲市でも人権のこと取り上げていったら良いと思います。
- ・LGBTの方々が生きやすい社会をつくるため、高齢者の方々にLGBTとは何んなのか、正しい知識を伝え、昔の考えを変えてほしい。

- ・パートナーシップ制度導入。
- ・自由なのびのびとしたくらしのため、人の痛みを聴いてあげられるように、痛みを解ってあげられるように、好奇心でなく理解力のある心を育てていきたい。
- ・外国人の人権問題について。外国人（特に中国、朝鮮など）、ゴミを捨てたり大声で話したり、マナーの悪さが目立ちます。人権を認めてもらいたかったら、人格を高くする必要があります。
- ・いじめや、パワハラをするような人を見ていると、性格がとても攻撃的であり、その人の親や子供も同じような性格の場合が多いように思われる。子供のころから、教育して、人に思いやりのある人に育てる必要があると思います（幼稚園、保育園、小学校から）。
- ・千曲市人権に関する話とは別になりますが一般の知らせ 市長様小川修一様 マイク（市）のはっきり聞こえないので五加小学校の屋根にとりつけてほしい。お願いします。
- ・まず近所づきあいから。よい関係を作っていく事から始めるのが、大事かと思います。
- ・特に高齢者の方の中には、まだまだ男がえらい女はしたがえ、おれ様的な方、そしてそれをさかかって支えるのが当たり前と思っている男性も、女性も多くいると思います。そうすると、今の時代にはあっておらず、やっぱりどうしても差別されてくると思います。なので、今の時代に合った考え方に、差別される側も変わらないといけないと思います。変わらないと、それをみている子どもたち、次の世代の人たちも「それでいいんだ！！」と勘ちがいをして、大きく大人になっていってしまいそうで、すごく心配です。ぜひとも、お互いに変わっていけるような社会になるとうれしいです。
- ・家庭でも職場内でも学校でも公共の場でも、皆が愛情を持って接していけば、人権が尊重され、差別のないやさしい社会になると思います。
- ・小学校、中学校については市の教育委員会などで色々な面で配慮されていますが、高等学校においてのいじめなどに依る中退が有る事が身近にして心が痛みます。子供の人権は小中学校だけでは無いと思います。義務教育中の子供達ばかりでなく広い範囲の見守りをしてほしいです。
- ・あえていうならば、履歴書の学歴や職歴は必要だと思いますが、それだけで決めてほしくないです。「大学を出ていないと採用しません。」とか「大学卒業者を募集します」など、大学を出ていないといけないんですか？クイズ番組を見ている東大や京大の方々がよく出演されています。高学歴の方はそんなに偉いんですか？大学出ていない人と出ている人の差別にならないですか？
- ・自分自身も他の人も、大切な存在であることを基本としてしっかり意識して、生活していきたいと思います。家庭で、乳幼児期の集団生活で、そして学校生活で、大切に育て生活し基本的に人権感覚を身につけていけることが必要だと思います。
- ・同和に関して、親から子へ子から孫に言い伝えられている事をよく耳にします。このような事をなくす事がまず第1だと思います。
- ・同和差別を気にしているのは、主に70代以降の方なのではと思われます。学生の子達は、同和地区がどんなもので、どんな扱いを受けているのかを知らないで、勉強することにより先入観が出来、また差別を生むという循環になっているのではないのでしょうか？

- ・ 偏見、差別の意識は社会の中に多くあると思う。学校、地域、職場で行なわれる講習や、TVなどの情報により、初めて気づくことが多い。問題を抱える人の気持ちを共有し、全ての人が住みやすい社会づくりが必要である。そのためには、学校、社会での講習、TV、新聞など情報を活用し問題提起していく必要がある。私達はその情報をもとに、自分で深く考え、自分としての考え方を確立していく必要がある。
- ・ 戦争は遠い事と思っておりましたが、未来の千曲市を築く、子供達に平和な人生であります様祈ります。障害者、高齢者、問題も大切ですが、健常者の声に出せない、見えない家庭で苦しんでいる子供達（家族の介護、家の経済、親の圧力等々）が、おりませんよう、まわりで注意して見守りたいものです。
- ・ 助けを求められたら、理解し対処できる千曲市であってほしい。
- ・ いじめがあったら、もみ消さず解決する教育委員会。
- ・ ひきこもり世帯への接触と無理のない対処。
- ・ 海外からの労働者が孤立しないコミュニティー。
- ・ 人権感覚をシャープにしていくことは一人一人にとって大切なことであり、同時に社会全体共通のテーマでもあります。市役所は、率先して、全庁的に人権問題への取組を推進して欲しいと思います。
- ・ 広報活動をもっとやっていただきたいと思います。
- ・ 質問内容からして、もうすでに差別を誘発しているようにしか見えない。質問内容考えた方の考えからものすごく差別的な見方していると思えない。すごく偏見を感じていきどおりを感じました。自分自身移住者でこのあたりの人権差別は知りませんが、長野での人権差別は地元のものより陰湿に感じて、逆におかしくかんじます。もっと質問の内容よく考えてから市民に送るべきでは?とおもいました。大事なことなので安易すぎます。差別を広げる質問に感じました。
- ・ 道路の清潔に。歩道の整備をお願いします。
- ・ となり近所手を取り合える、声がとどく千曲市にして行ってください。
- ・ 現在はどうかわかりませんが、中学時代に体育などの運動着になる際に、教室で男女一緒に着替えるように指示されていました。夏は制服の下にTシャツを必ず着ていなくてはいけないし、男の子たちは女子の前にパンツになるか暑いのに、下に運動着を着ていました。13~14歳、~16さいまでの子が、男女一緒に着替えをさせられるなんて、現代ではありません。今も続いているなら、やめてほしいです。
- ・ 外国人、障害者、同和地区出身といった属性で何かを判断するのではなく、その人自身を見て1人1人が判断していくことが人権尊重につながると思う。結局の所、一般的に差別されていない属性の人にも悪人はいるのだし、逆に差別されている人の中にも善人はいるのだから。
- ・ この様な調査が反映される様にして下さい。

- ・同和の件で、私達はいつも間にか知る事となり、知らないでいれば、誰れも差別する事もなかったのにナーと思った事もあったのは事実です。そういう事を、実在する事を公表したりする事が果して良いのかとも思ったりします。「本当はみんなが平等である」と思って生活出来る社会になってほしいと思います。
- ・(部落)差別は、現在あまり聞くことがなくなりました。これについては、とりたててとりあげる必要もなくなってきているのではないかとと思う。インターネット上での誹謗・中傷、高齢者・障害者・外国人への思いやりある施策をし、その人達が安心して住める社会にして欲しいです。
- ・人権侵害や差別を受けた時の相談窓口をもっと明確にするとともに、利用しやすい環境を整えていただきたい。
- ・この調査がこなければ、部落について考える事もなく、ただ「聞いた事あるな…」ぐらいで終わってました。この時代にまで、差別があるのがビックリです。そして、今を生きる人々にかんけないと思います。広報などで、色々ある差別を1つ1つわかりやすく(イラストなど)1~2ページを使い取り上げ、差別するのは良くないと教えてほしいです。何百年も前からの差別がなくならないなら、この時代のトランスジェンダーなどの差別なんて、なくなる気がします。
- ・みんな(子どもや大人や障がい者など)が遊べる、大きな施設や運動場を作ってほしい。
- ・人権が尊重されること。快く暮らすため、生きるため、大切な問題だと思います。かつ広く、深く、答えを1つにしぼり込むことの難しさがあります。お互いの信頼、尊重を根底に、ルール作りは(罰則伴う)少なくなくて済む方がよいと思いますが。幼少期からの親からの教育も大事だと思います。
- ・生まれてきた場所、病、障害、その他、自分の力、努力ではどうにもならない差別って結構沢山あります。どうかそれ等と、優しく向き合っていける社会を生みだして行って頂きたい祈念いたしております。
- ・同和問題は、詳しく教育を受けた記憶もなく、普段も周りでも話はあまり聞きません。
- ・差別という言葉をなくす。
- ・自分の興味のある物事には情報が入りやすい世の中になっていると思うが、そうでない事には無関心になりやすくなっていると思う。興味を持ってもらう、知ってもらう事が、大切だと思うが、なかなか難しい世の中になってきていると思う。
- ・知識としてないことが、一番の差別につながると思う。周りの差別的な意見をきいても、疑問に思えたり、自分の意見を表せる様、子供のうちから学べるとよいと思う。現実には差別は存在するのだから、公の機関や法律等で抑止したい。理想は個々人の意識の向上であると思う。
- ・深く正しい知識を共有できるようにする事。
- ・いろんな人がいるが、ふつうに誰でも生きていける社会にしてほしい。人間は感情の動物なので、頭ではわかっているけど、いざ実際に問題にあうと、どうなるかわからない。皆違っていても、皆ない。
- ・みんなが仲よくできればいいな!

- ・人の意識を変えるのはたいへんだと思います。諸外国での状況も知りたいです(カースト、移民・難民、ウイグル族)。
- ・最近、加害者より被害者のプライバシーが情報としてもれている。いつまでも、被害者はこれに悩まされると思う。少年法というが18才で選挙権もあるのだから、大きな犯罪には実名を出してもよいと思われる。
- ・男女平等の社会、子育て、高齢者が住み良い環境の市になればいいと思います。
- ・同和問題については、現在固まった地域があるとか全く存在について知りません。(昔の話と聞いていたので。)答えがむずかしかったです。市でこのようなとり組みをすることは大切なことだと思います。
- ・人口減になる今日、自から行動が起せることが出来る環境を整のえること。(实例)千曲市は、朝の「おはよう」という声かけ運動の実施、自分の出来るボランティア活動の推進。
- ・コロナ禍になり、どことなく人とのつながりがなくなってきた今、昔からの差別と変化が見られますが、一人一人が自分のこととして考えて欲しい。
- ・現在の犯罪者の人権を重視する考え方は問題がある。犯罪者に人権など必要ない。被害者の人権を大いに守り、救済を第一に考えるべき。
- ・人権に関する法律や条例、宣言などが、私自身あまりにも知らないということにとっても驚きました。不勉強ということもありますが、今まで知る機会が少なかったのかもしれませんが。少しずつでいいですので、ケーブルビジョンや広報誌などで、特集を組んで頂いて教えていただけたら嬉しいです。まずは知る事から始めたいです。
- ・私自身は自分が人権感覚がするどいとは思わないのですが、様々な立場の方の思いに寄りそったり、人権感覚を養っていくことが大切なのかな…と感じています。
- ・最近差別の話は、ほとんど聞かなくなりました。みなさん理解していると思います。
- ・某市街地から転居してくると、差別や付き合い方に対し、壁を感じます。世の中の広さや人的知識を蓄えた包括的が千曲市になることを望みます。以上。
- ・行政がもっと力を入れ、企業にも人権問題を努力する様に働きかける。
- ・ぼくはこの先も人の助けなしでは生きていけません。親が死んでしまったら…1人になってしまったら…と心配になります。普通の人とは違うけど、同じ人間として、障がいを持っていても人間らしくあたり前の生活が出来る場所、安心して毎日を過ごせる場所を作ってほしいです。みんなと同じように、楽しい事も、何でも経験できる人生を送りたいです。かわいそうに思われる事がぼくにとっては一番悲しいです。みんなと違うというだけでジロジロ見られたり、コソコソ何か言われたりするのはいやです。ぼくの気持ち届きますか？
- ・皆が楽しくくらせる社会になってほしいと思います。

- ・各家庭で人権についての教育や話し合いがなかなかできない、又はしないのが現状だと思います。保育園、幼稚園、小学校低学年のような早いうちに、差別はいけないこと、差別された人はどうい苦勞をしているのか、人の立場に立って考えることができる人をつくる教育が必要だと考えます。
- ・だれにでも分かる回答にしてほしいです。
- ・なし（3件）

3 分析と考察のまとめ

今回の市民意識調査では、従前から取り組んできた人権課題に加え、新たな人権課題に関しての設問を追加して実施しました。

そのなかで、市民の意識の変化や関心の高まりを感じられた人権課題について、分析と考察のまとめとして記述します。

(1) 人権に関する意識について

人権問題への関わりについて、「自分とは関係ない」といった無関心さが総じて減少し、差別に対する意識も向上していることが、前回調査・前々回調査と比較することで確認できました。

その一方で、人権侵害の経験を持つ回答者が依然一定数いることから、「差別をしない」ことに加え「差別をさせない」ことに重きを置き、啓発および人権意識の醸成に尽力する必要があります。

(2) 犯罪被害者やその家族の人権問題について

誰もが犯罪被害者やその家族となり得る昨今、その支援に市民が注目していることが見受けられました。一部、犯罪の「加害者」への支援と混同されている意見もあったことから、理解を得るためにも地道に啓発活動を行っていく必要があります。

(3) 性の多様性について

性的マイノリティを理解し公平に接することができるとした回答が多数を占めた半面、一定以上の年代では性の多様性に否定的な考えの回答も散見されました。

性の多様性を認め合える社会をつくるための取り組みを必要とした回答が多く、理解の促進のための施策の確立が求められています。

(4) 人権問題の教育や啓発について

同和問題をはじめとする様々な人権問題について、学習や講演会・研修会を受けたことがあるとの回答が非常に多い結果となりました。

学校をはじめ、地区で実施している人権教育研修会などを通じ人権問題に接することで、上記(1)でも触れたとおり、人権意識の向上につながっているのではないかと推察されます。

今後の教育・啓発方法については「積極的に行うべき」との声が多く、「どこに相談していいかわからない」あるいは「人権について知ることからはじめたい」といった意見も寄せられており、市民への情報発信が求められています。

[資料] 調査票様式

秘

千曲市
人権に関する市民意識調査

■ 調査のあらまし

1. この調査は、今後の人権教育・啓発施策を推進するうえでの基礎資料として活用するため、人権問題について市民のみなさまの意識やお考えをお聞きするものです。
2. この調査票は、18歳以上の市民の中から、無作為に1,000名の方を選び、送付させていただいています。
3. 無記名でお答えいただきますので、どなたのお答えかはわからないようになっています。
あなた自身にご迷惑をかけることは一切ありません。
また、上記目的以外に使用することはありません。

■ 回答方法

郵送またはオンライン回答のいずれかにより、ご回答ください。

【郵送により提出される場合】

1. あて名のご本人がお答えください。
(ただし、読み書きが困難な場合、ご家族等の協力で本人がお答えください)。
2. ボールペンか鉛筆で、設問の指示(1つに○、○はいくつでも、問9へ進む、など)にしたがって、選択回答もしくは記述回答してください。

ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒(切手は不要)に入れ、

令和4年10月31日(月)までに投函してください。

【オンラインにより回答される場合】

インターネットを利用して、パソコンやスマートフォンからオンラインで回答いただけます。

1. アンケートシステムへのアクセスには、インターネット接続に係る通信料が発生します。
申し訳ありませんが、通信料はご自身でご負担くださいますようお願いいたします。
2. あて名のご本人がお答えください。
3. アンケートシステムを利用しても、利用者個人が特定されることはありません。

アンケートシステムは、次のURLまたはQRコードからアクセスしてください。

<https://www2.city.chikuma.lg.jp/survey>



オンラインでの回答には、下記トークンの入力が必要となります。

トークンは二重回答を防止するためのもので、利用者個人を特定されることはありません。

トークン	sample
(読み)	(えす、えー、えむ、ぴー、える、いー)

令和4年10月31日(月)24時までに回答を入力してください。

■ 調査についてのお問い合わせは

この調査に関するご質問などがありましたら、下欄までご連絡ください。

〒387-8511 千曲市杭瀬下二丁目1番地
千曲市役所 健康福祉部 人権・男女共同参画課
(課長) 平原 俊久 (担当) 宮本 裕士
(TEL) 026-273-1111 (内線 2252)

■ご自身のことについておたずねします

問1 あなたがお住まいの地区は、次のどれですか。(1つに○)

- | | | | | |
|----------|----------|----------|-----------|----------|
| 1 屋代小学校区 | 2 東小学校区 | 3 埴生小学校区 | 4 治田小学校区 | 5 八幡小学校区 |
| 6 戸倉小学校区 | 7 更級小学校区 | 8 五加小学校区 | 9 上山田小学校区 | |

問2 あなたの性別をお答えください。(1つに○)

- | | | |
|------|------|----------------|
| 1 男性 | 2 女性 | 3 答えたくない・わからない |
|------|------|----------------|

問3 あなたの年齢をお答えください。(1つに○)

- | | | | |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 1 18・19 歳 | 2 20～29 歳 | 3 30～39 歳 | 4 40～49 歳 |
| 5 50～59 歳 | 6 60～69 歳 | 7 70～79 歳 | 8 80 歳以上 |

問4 現在、あなたはどのような仕事(主なもの)に就いておられますか。(1つに○)

- | | |
|--------------------|-----------------------|
| 1 農林業(家族従事者も含む) | 2 農林業以外の自営業(家族従事者も含む) |
| 3 専門職(開業医・弁護士など) | 4 商工サービス業(商店・飲食店の店員等) |
| 5 会社員(民間企業・各種団体など) | 6 公務員 |
| 7 学生 | 8 無職・求職中 |

問5 あなたは、次のような人権の考え方について、どのように思いますか。

次にあげる①～⑧すべてについてお答えください。(それぞれ1つに○)

	1 そう思う	2 どちらか といえば そう思う	3 どちらとも いえない	4 どちらか といえば そう思わ ない	5 そう思わ ない
記入例…それぞれ1～5の1つに○	1	②	3	4	5
①人権は自分の生活には関係ない	1	2	3	4	5
②人権は職場の中では通用しない	1	2	3	4	5
③人権は夫婦の間では関係ない	1	2	3	4	5
④人権は子どもには関係ない	1	2	3	4	5
⑤人権は外国人には関係ない	1	2	3	4	5
⑥人権は結婚とは関係ない	1	2	3	4	5
⑦人権は職業の選択とは関係ない	1	2	3	4	5
⑧人権はインターネットでは通用しない	1	2	3	4	5

問6 「差別」について、あなたはどのようなお考えをお持ちですか。

次にあげる①～⑪のすべてについて、あまり深く考えず、頭に浮かんだ気持ちを気軽にお答えください。

(それぞれ1つに○)

	1 そう思う	2 どちらか といえば そう思う	3 どちらと もいえな い	4 どちらか といえば そう思わ ない	5 そう思わ ない
記入例…それぞれ1～5の1つに○	1	②	3	4	5
① 差別は人間として最も恥ずべき行為の一つである	1	2	3	4	5
② 差別は世の中に必要なこともある	1	2	3	4	5
③ あらゆる差別をなくすために、行政は努力する必要がある	1	2	3	4	5
④ 差別は法律で禁止する必要がある	1	2	3	4	5
⑤ 差別の原因には、差別される人の側に問題があることも多い	1	2	3	4	5
⑥ 差別されている人は、まず、自分たちが世の中に受け入れられるよう努力することが必要だ	1	2	3	4	5
⑦ 差別だという訴えを、いちいち取り上げていたら、きりが無い	1	2	3	4	5
⑧ 差別される人の言葉をきちんと聞く必要がある	1	2	3	4	5
⑨ 差別を問題にすることによって、より問題が解決しにくくなる	1	2	3	4	5
⑩ 差別問題に無関心な人も、差別問題についてきちんと理解してもらうことが必要である	1	2	3	4	5
⑪ 差別は差別されている人の問題で、自分には関係ない	1	2	3	4	5

■ 人権侵害の経験についておたずねします

問7 あなたは、今までに自分や家族の人権が侵害されたと思ったことがありますか。(1つに○)

1 ある	2 ない
------	------

問8 あなたは、自分や家族の人権が侵害された場合、どのように対応しますか(しましたか)。

(○はいくつでも)

1 黙ってがまんする	2 相手に抗議する	3 身近な友人などに相談
4 民間団体に相談	5 弁護士に相談	6 法務局や人権擁護委員に相談
7 市役所に相談	8 警察に相談	9 わからない
10 その他(具体的に:)

■人権への関心についておたずねします

問9 あなたは、人権に関する法律や条例、宣言等があることを、どの程度ご存知ですか。①～⑳のすべてについてお答えください。(それぞれ1つに○)

	1 どんな内容 か知っている	2 内容は知らない が名称は聞いた ことがある	3 知らなかった
記入例…それぞれ1～3の1つに○	①	2	3
① 長野県犯罪被害者等支援条例(2022年)	1	2	3
② アイヌの人々の誇りが尊重される社会を実現するための施策の推進に関する法律【アイヌ施策推進法】(2019年)	1	2	3
③ 部落差別の解消の推進に関する法律【部落差別解消推進法】(2016年)	1	2	3
④ 本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進に関する法律【ヘイトスピーチ解消法】(2016年)	1	2	3
⑤ 障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律【障害者差別解消法】(2016年)	1	2	3
⑥ 女性の職業生活における活躍の推進に関する法律【女性活躍推進法】(2015年)	1	2	3
⑦ ハンセン病問題の解決の促進に関する法律【ハンセン病問題基本法】(2008年)	1	2	3
⑧ 犯罪被害者等基本法(2004年)	1	2	3
⑨ 千曲市差別撤廃人権擁護条例(2003年)	1	2	3
⑩ 個人情報保護法(2003年)	1	2	3
⑪ 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律【DV防止法】(2001年)	1	2	3
⑫ 人権教育及び人権啓発の推進に関する法律(2000年)	1	2	3
⑬ 男女共同参画社会基本法(1999年)	1	2	3
⑭ 高齢社会対策基本法(1995年)	1	2	3
⑮ 子どもの権利条約(1989年採択)	1	2	3
⑯ 女子差別撤廃条約(1979年採択)	1	2	3
⑰ 障害者基本法(1970年)	1	2	3
⑱ 同和対策審議会答申(1965年)	1	2	3
⑲ 人種差別撤廃条約(1965年採択)	1	2	3
⑳ 世界人権宣言(1948年採択)	1	2	3

問10 あなたは、次の人権に関わる問題が、現実の社会でどの程度存在していると思いますか。
(それぞれ1つに○)

	1 現実として 存在する	2 ある程度 存在する	3 どちらとも いえない	4 ほとんど 存在しない	5 存在しない
記入例…それぞれ1~5の1つに○	①	2	3	4	5
① 子どものいじめ・体罰・虐待等	1	2	3	4	5
② 女性に対する差別	1	2	3	4	5
③ 障がい者に対する差別	1	2	3	4	5
④ 在日外国人に対する差別 (ヘイトスピーチ)	1	2	3	4	5
⑤ アイヌの人々に対する差別	1	2	3	4	5
⑥ 同和問題(部落差別)	1	2	3	4	5
⑦ 高齢者に対する差別	1	2	3	4	5
⑧ HIV 感染者・ハンセン病患者・元患者 に対する差別	1	2	3	4	5
⑨ 犯罪被害者やその家族への無配慮	1	2	3	4	5
⑩ 刑を終えて出所した人に対する差別	1	2	3	4	5
⑪ 性的マイノリティ(※)に対する差別	1	2	3	4	5
⑫ インターネットによる人権侵害	1	2	3	4	5
⑬ 新型コロナウイルス感染症に関わる 差別	1	2	3	4	5

(※)「性的マイノリティ」とは、同性に恋愛感情を持つ人や、自分の性に違和感を感じている人などのことをいい、「性的少数者」ともいいます。

■ 同和問題についておたずねします

問11 あなたは、日本の社会に「被差別部落」「同和地区」あるいは「部落」と呼ばれ、差別を受けている地区があることや、差別を受けている住民がいること、いわゆる「同和問題」を知っていますか。(1つに○)

1 知っている 2 知らない → 問12へ進む。

問11付問 あなたが同和問題についてはじめて知ったきっかけは何ですか。(1つに○)

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1 家族から聞いた | 2 親戚の人から聞いた |
| 3 近所の人から聞いた | 4 職場の人から聞いた |
| 5 学校の友達から聞いた | 6 学校の授業で教わった |
| 7 テレビ・ラジオ・新聞・本などで知った | 8 同和問題の集会や研修会で知った |
| 9 県や市町村の広報誌や冊子で知った | 10 インターネットや SNS で知った |
| 11 はっきりおぼえていない | |
| 12 その他(具体的に: _____) | |

問12 あなたが家や土地を購入する際に、同和地区や同和地区出身者が住んでいる周辺を避けることがあると思いますか。(1つに○)

1 避けると思う 2 こだわらない 3 わからない

問13 あなたは「同和地区の人は怖い」というような話をきいたことがありますか。(1つに○)

1 ある 2 ない → 問14へ進む。

問13付問1 それは誰から聞きましたか。(○はいくつでも)

- | | | |
|--------------------|---------------------|---------|
| 1 家族 | 2 親戚 | 3 近所の人 |
| 4 友人 | 5 職場の人 | 6 学校の先生 |
| 7 県や市町村の職員 | 8 インターネットや SNS で知った | |
| 9 その他(具体的に: _____) | | |

問13付問2 その話を聞いたとき、どう感じましたか。(1つに○)

- | | |
|--------------|-----------------|
| 1 そのとおりだと思った | 2 そういう見方もあると思った |
| 3 疑問や反発を感じた | 4 特に何も思わなかった |

問14 学校や職場、日常生活の中で、誰かが「同和地区」の人に対する差別的な発言をしたとき、あなたはどのような態度をとりますか。または、とると思いますか。(1つに○)

- 1 差別的な発言であることを伝え、話し合う(と思う)
- 2 気づかなかった振りをする(と思う)
- 3 おもて向きは話を合わせ、自分も差別的な言葉を口にしてしまう(と思う)
- 4 その他(具体的に: _____)

問15 あなた自身、あるいはあなたの親族や知人が、同和地区の人との結婚に関して、もめたり、反対にあったりしたことや、聞いたことがありますか。(1つに○)

- 1 自分自身あるいは親族や知人が、もめたり、反対にあったことがある
- 2 自分にはそうした経験はないが、親族や知人がもめたり、反対にあったことがある、または聞いたことがある
- 3 自分の経験にもないし、聞いたこともない

問16 現在、同和地区の人たちは、結婚する際に、同和地区出身者であることを理由に反対されることがあると思いますか。(1つに○)

- 1 反対されることがあると思う
 - 2 たまに反対されることがあると思う
 - 3 反対されることはないと思う
 - 4 わからない
- 1と2は → 問16付問へ進む。
3と4は → 問17へ進む。

問16付問 それは、近い将来なくすことができると思いますか。(1つに○)

- 1 完全になくすことができる
- 2 かなりなくすことができる
- 3 なくすことは難しい

問17 あなたご自身、同和地区に住んでいる人との付き合いはありますか。(1つに○)

- 1 ある → 問17付問へ進む。
 - 2 ない
 - 3 わからない
- 2と3は → 問18へ進む。

問17付問 その方との付き合いは、どの程度ありますか。(○はいくつでも)

- 1 近所付き合いをしている
- 2 自治会、婦人会などのメンバーとして付き合いしている
- 3 福祉や教育のことなどでの地域の取り組みを一緒にしている
- 4 同じ職場や仕事上の関係で付き合いがある
- 5 趣味の会や講習会などで一緒に習っている
- 6 盆踊りやまつり、スポーツなどを一緒にしている
- 7 学生時代から付き合いしている友人である
- 8 その他(具体的に: _____)

問18 同和問題をなくすため、次にあげる意見はどの程度重要だと思いますか。①～⑧のすべてについてお答えください。(それぞれ1つに○)

	1 非常に 重要	2 やや重 要	3 あまり重 要でない	4 重要で はない	5 わから ない
記入例…それぞれ1～5の1つに○	1	②	3	4	5
① 行政が同和地区住民の「自立」を支援する取り組みを充実する	1	2	3	4	5
② 同和地区の人々が、かたまって住まないで、分散して住むようにする	1	2	3	4	5
③ 学校教育・社会教育を通じて、差別意識をなくし、人権を大切にする教育・啓発活動を積極的に行う	1	2	3	4	5
④ 差別を法律で禁止する	1	2	3	4	5
⑤ 戸籍制度を大幅に見直す・廃止する	1	2	3	4	5
⑥ 同和地区住民が差別されないようもっと努力する	1	2	3	4	5
⑦ 「同和地区」のことや「差別」があることを口に出さないで、そっとしておけば、自然に「差別」はなくなる	1	2	3	4	5
⑧ 部落差別をなくすために、一人一人が努力しなければならない	1	2	3	4	5

■犯罪被害者やその家族の人権問題についておたずねします

問19 あなたは、犯罪の被害者やその家族が受けている人権侵害のなかでもっとも問題だと思うものはどれですか。(1つに○)

- 1 犯罪行為によって精神的・経済的な苦痛を受けること
- 2 報道やインターネットでプライバシーが公表されること
- 3 事件のことについて周囲にうわさ話をされること
- 4 裁判手続きによって仕事などに制限をうけること
- 5 人権問題は特にない
- 6 その他(具体的に:)

問20 犯罪の被害者やその家族を支援するためにはどんなことが必要ですか。(1つに○)

- 1 おやみにプライバシーが公表されないように制限する
- 2 犯罪行為によって受ける経済的な負担を援助する
- 3 専門的な職員による相談や支援に関する窓口を設置する
- 4 生活の安全や住居の確保、福祉や医療など、行政が行うサービスを充実させる
- 5 犯罪の加害者がすべて補償すべきである
- 6 わからない
- 7 その他(具体的に:)

■性の多様性についておたずねします

問21 あなたは、今まで自分の性別について悩んだことがありますか。(1つに○)

- | | |
|------|------|
| 1 ある | 2 ない |
|------|------|

問22 性的マイノリティ(※)の人について、あなたはどのように感じますか。(1つに○)

- 1 様々な性のあり方があるということを理解し、公平に接するべきだと思う
- 2 性のあり方が多様であることはわかるが、公平に接することは難しい
- 3 生まれたときの身体の性にあわせて生活すべきだと思う
- 4 わからない
- 5 その他(具体的に:)

(※)「性的マイノリティ」とは、同性に恋愛感情を持つ人や、自分の性に違和感を感じている人などのことをいい、「性的少数者」ともいいます。

問23 性の多様性を認め合える社会をつくるための取り組みが必要だと思いますか。(1つに○)

1 必要だと思う	2 どちらかという必要だと思う
3 あまり必要だと思わない	4 必要ではない
5 わからない	
6 その他(具体的に:)

■さまざまな人権問題についておたずねします

問24 人権に関する問題をめぐり、さまざまな意見がありますが、あなたはどのように思いますか。

それぞれの人権問題の各項目すべてにお答えください。

(1) 女性の人権問題

	1 そう思う	2 どちらか といえ ば そう思う	3 どちらと もいえ ない	4 どちらか といえ ば そう思 わない	5 そう思 わない
記入例…それぞれ1~5の1つに○	①	2	3	4	5
① 結婚しても、必ずしも子どもをもつ必要はない	1	2	3	4	5
② 夫婦で別々の姓を名のりたい人は、名のることができるようにしたほうがよい	1	2	3	4	5
③ いまだに「男は仕事、女は家庭」という意識がある	1	2	3	4	5
④ 地域の行事などでは、力仕事は男性、接待は女性の方がよい	1	2	3	4	5
⑤ 女性が責任ある役職につくことに抵抗がある	1	2	3	4	5
⑥ 子育ての間は、母親は育児に専念したほうがよい	1	2	3	4	5
⑦ シングルマザーは、なかなか正規の仕事に就きにくい現状にある	1	2	3	4	5

(2) 子どもの人権問題

	1 そう思う	2 どちらか といえ ば そう 思う	3 どちら とも いえ ない	4 どちら か とい え ば そう 思 わ な い	5 そう 思 わ な い
① 子どもは生活力がないのだから、親に従うのは当然である	1	2	3	4	5
② 親がしつけのために、子どもに体罰をすることはやむを得ない	1	2	3	4	5
③ 犯罪を犯した少年は、成人と同じように処遇すべきだ	1	2	3	4	5
④ 子どもへの虐待はゆるされない	1	2	3	4	5
⑤ いじめはゆるされない	1	2	3	4	5

(3) 高齢者の人権問題

	1 そう思う	2 どちらか といえ ば そう 思う	3 どちら とも いえ ない	4 どちら か とい え ば そう 思 わ な い	5 そう 思 わ な い
① 高齢者は尊敬され、敬われなければならない	1	2	3	4	5
② 年老いたら子どもに従う方がよい	1	2	3	4	5
③ 高齢者が孤独死する社会を作っているのは、私たち自身の問題である	1	2	3	4	5
④ 高齢者がいつまでも元気で働くことは、若い人の職を奪うことになる	1	2	3	4	5
⑤ 一定年齢の高齢者に年金や医療などの無料給付を行うのは当然である	1	2	3	4	5

(4) 障がい者の人権問題

	1 そう思う	2 どちらか といえば そう思う	3 どちらと もいえな い	4 どちらか といえば そう思わ ない	5 そう思わ ない
① 障がい者が利用しやすくなるように、すべての公共の建物をバリアフリー化すべきだ	1	2	3	4	5
② 障がい者を雇用する義務を果たしていない会社には、厳しい罰則を与えるべきだ	1	2	3	4	5
③ 障がい者と結婚するには、まだまだ様々な問題がある	1	2	3	4	5
④ 障がい者が暮らしやすい社会こそ健全者も暮らしやすい	1	2	3	4	5
⑤ 自分が住んでいる近くに新しく障がい者の施設ができることには反対だ	1	2	3	4	5
⑥ 障がい者には周囲の人が配慮すべきだ	1	2	3	4	5

(5) 外国人の人権問題

	1 そう思う	2 どちらか といえば そう思う	3 どちらと もいえな い	4 どちらか といえば そう思わ ない	5 そう思わ ない
① 外国人は、もっと日本の文化にとけ込む努力をするべきだ	1	2	3	4	5
② 外国人は、仕事をする上で、待遇が悪くても仕方がない	1	2	3	4	5
③ 外国人が日本で働くことは、日本人の職を奪うことになり賛成できない	1	2	3	4	5
④ 外国人にアパートを貸さない家主がいることは残念なことだ	1	2	3	4	5
⑤ 外国人も、日本人と同じように人権を守られるべきだ	1	2	3	4	5

(6) HIV感染者・ハンセン病患者・元患者の人権問題

	1 そう思う	2 どちらか といえば そう思う	3 どちらと もいえな い	4 どちらか といえば そう思わ ない	5 そう思わ ない
① 友人がHIVに感染していることがわかって、これまでと同じように付き合いける	1	2	3	4	5
② ハンセン病回復者が社会復帰できない現状がある	1	2	3	4	5
③ 求められれば、カルテの情報は患者本人に開示されるべきだ	1	2	3	4	5
④ HIV感染者が就職などで不利な扱いを受ける現状がある	1	2	3	4	5

(7) インターネットでの人権問題

	1 そう思う	2 どちらか といえば そう思う	3 どちらと もいえな い	4 どちらか といえば そう思わ ない	5 そう思わ ない
① 他人を誹謗・中傷したり差別を助長するような情報を掲載している	1	2	3	4	5
② 出会い系サイトなど犯罪を誘発する場所になっている	1	2	3	4	5
③ 個人名などのプライバシーに関する情報の流出が心配だ	1	2	3	4	5

■ 人権問題の教育や啓発についておたずねします

問25 あなたは、人権問題についての学習・講演会への参加や、研修を受けたことがありますか。

(〇はいくつでも)

<ul style="list-style-type: none"> 1 小・中学校で受けた 2 高校・専門学校・大学で受けた 3 一般市民等対象の講座などで受けた 4 職場の研修で受けた 5 地域(地区)の研修会で受けた 6 はっきり覚えていない 7 受けたことはない 8 その他(具体的に: _____) 	<p>→ 問 25 付問へ進む。</p>
--	----------------------

問25付問 それはどの分野の人権問題についての内容でしたか。(○はいくつでも)

1 同和問題	2 障がい者の人権問題
3 子どもの人権問題	4 女性の人権問題
5 高齢者の人権問題	6 外国人の人権問題
7 その他(具体的に:)

問26 人権問題の教育や啓発について、あなたはどのように思いますか。

(1)及び(2)にお答えください。

(1) 今後の啓発方法について(1つに○)

1 もっと積極的に行うべき	2 現在の程度でよい	3 ほどほどでよい
4 やるべきではない	5 わからない	
6 その他(具体的に:)

(2) 学校での人権教育について(1つに○)

1 もっと積極的に行うべき	2 現在の程度でよい	3 ほどほどでよい
4 やるべきではない	5 わからない	
6 その他(具体的に:)

問27 次の(1)及び(2)は、自由に記述回答してください。

(1)あなた自身や家族など身近な方で、今まで人権侵害や差別を受けた経験がありましたら記述ください。

--

(2) 人権が尊重され、差別のない明るい千曲市を実現するために、ご意見や要望等がありましたら記述ください。

以上で調査は終わりです。ご協力ありがとうございました。



令和4年度 千曲市人権に関する市民意識調査
報告書

発行年月 令和5年3月

発行 千曲市

編集 健康福祉部 人権・男女共同参画課

〒387-8511 長野県千曲市杭瀬下二丁目1番地

TEL 026(273)1111

FAX 026(273)1924

E-mail: jinken@city.chikuma.lg.jp